
販売カウンターA,B 仕様 消費税対応型カード販売機

VML51-2

取扱説明書

第2版：2022年7月21日



東亜電子工業株式会社

(本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。)

-目次-

安全上のご注意.....	3
1 はじめに.....	7
2 特徴.....	7
3 構成.....	8
3-1 ブロック図.....	8
3-2 全体図.....	9
3-3 内部機構図.....	10
3-4 寸法図.....	11
4 設置.....	13
4-1 付属品.....	13
4-2 設置方法.....	13
4-3 盗難および転倒防止.....	18
5 初期設定.....	19
6 販売中の動作.....	20
6-1 状態ランプ.....	20
6-2 購入の仕方.....	21
6-3 購入取消の仕方.....	23
7 モード一覧.....	24
7-1 販売モード.....	24
7-2 販売モード内の流れ.....	25
7-3 メンテナンスモード.....	28
7-4 メンテナンスモードの流れ.....	29
8 つり銭の補充.....	38
8-1 硬貨選別機のつり銭補充.....	38
8-2 つり銭補助機のつり銭補充(メーカーオプション).....	42
9 紙幣・硬貨回収.....	44
9-1 紙幣の回収方法.....	44
9-2 硬貨の回収方法.....	45
10 カードの補充.....	46
11 日常のお手入れ.....	47
11-1 紙幣識別機の清掃.....	47
11-2 硬貨選別機の清掃.....	50
11-3 つり銭補助機の清掃(メーカーオプション).....	54
11-4 カード払い出し機の清掃.....	57
12 警報ブザー.....	58
12-1 警報ブザーの動作.....	58
12-2 警報ブザーの電池残量確認.....	59
13 プリンターの接続方法.....	60
14 エラー表示一覧.....	61
15 製品仕様.....	62
16 保証規定.....	64

安全上のご注意

—かならずお守りください—

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたい事を、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示を見逃して、誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を見逃して、誤った取扱いをすると人が損傷を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。



記号は注意を促す表示です。



記号はしてはいけない「禁止」表示で、記号内に具体的な注意内容図が描かれています。

左図は「分解禁止」指示です。



必ず実行していただきたい表示で、記号内に具体的な指示図が描かれています。

左図は「電源プラグを抜く」指示です。



警告



AC100V 以外禁止

指定の電源電圧 (AC100V) 以外で使用しないでください。
故障や感電、発熱、火災の原因になります。



禁止

直射日光の当たる場所や、冷暖房器具の近くで著しく温度が変化する場所には取り付けしないでください。
故障や感電、発熱、火災の原因になります。



禁止

本機の上に花瓶、植木鉢、水の入ったコップなどを置かないでください。水がこぼれて中に入った場合、感電、発熱、火災の原因になります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。



電源プラグを抜く

本機の内部に異物や水などが入ったり、本機を落としたりしたらすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社にご連絡ください。
そのまま使用すると火災、感電の危険があります。



電源プラグを抜く

故障や発煙、変な臭い、音がした状態で、そのまま使用すると火災、感電の危険があります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そして販売会社にご連絡ください。



確認

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因となります。



専門業者へ

電気工事は、必ず電気工事登録業者に依頼してください。
ご自分で配線工事をされ不備があると、漏電や火災の原因になります。



アース線接続

アース工事は、電気設備基準など関連する法令、規則などに従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行ってください。



分解禁止

本機を分解しないでください。
内部に高電圧部分があり、感電の恐れがあります。



接触禁止

雷が鳴り出したら電源プラグには触れないでください。
感電の危険があります。



禁止

電源コードや接続ケーブルを破損するようなことはしないでください。
ショート、断線により火災、感電の危険があります。

注意



取り外し確認

移動させる場合は接続ケーブルなどをはずしてください。
ケーブルや本機が損傷し火災、感電の原因となります。



禁止

腐食性ガスの存在する場所に設置し、使用しないでください。
また、埃や空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄
など）が含まれている環境へも設置しないでください。



禁止

埃や湿気、油煙、湯気が当たるところには取り付けないで
ください。絶縁が低下し、感電や発熱、火災の原因になります。



禁止

本機の上に重い物を置かないでください。
転倒、落下などが怪我の原因になります。



電源プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は電源プラグをコンセントから
抜いてください。



禁止

電源プラグをコンセントから抜く時は、電源コードを引っ張らな
いください。コードが断線、ショートし、火災、感電の原因と
なることがあります。

1 はじめに

VML51-2 は、1000 円紙幣、500 円硬貨、100 円硬貨、50 円硬貨、10 円硬貨に対応したプリペイドカードを販売するカード販売機です。

2 特徴

- 期間 A のカウンターと期間 B のカウンターを別々に管理できます。
- 販売金額以上の紙幣、硬貨を投入すれば、つり銭を計算して払い戻しを行います。※1
- 購入途中であれば、投入した金額を払い戻し、購入をキャンセルする事ができます。※1 ※2
- 紙幣識別機は 1 枚保留機能があります。保留しない場合は設定で変更できます。
- 硬貨選別機は 10 円、50 円の受入/禁止設定が行えます。
- 硬貨選別機は硬貨の受入/払出が循環式となっており、投入した硬貨がつり銭として使用できます。
- つり銭切れになった場合でも販売を継続します。ただし、つり銭が必要になる場合は紙幣、硬貨を受け付けません。
- 100 円硬貨用のつり銭補助機を使用する事で、つり銭切れの発生を軽減できます。※3
- 紙幣識別機、硬貨選別機、カード払い出し機が内蔵されており、マイクロプロセッサにより販売動作を制御しています。
- 紙幣識別機と硬貨選別機は紙幣収納部、硬貨収納部にカバーを取り付ける事ができます。※3
- 架台、台座を使用する事で、既存の台を使用せずに設置できます。※3
- 表示は 4 桁数値表示器となっており、販売金額、エラーなどを表示します。
- 警報ブザー、警報ブザー設定スイッチを搭載していますので、セキュリティだけでなく運営面でも安心してお使い頂けます。
- 紙幣の識別には、磁気、光学方式を併用しています。
- 紙幣引き抜き防止機能を備えています。
- カード払い出し機構には、安定した払い出しが可能なスライド式を採用しています。
- 電子式トータルカウンタ機能(ノンリセット式、4 桁表示)、電子式期間カウンタ機能(リセット式、3 桁表示)を搭載しています。
- 専用プリンター※4 を接続するためのインターフェースを搭載しており、売上明細書が必要な場合は印刷する事ができます。
- テスト機能がありますので、設置時およびメンテナンス時に各種カウンタの値を変えることなく、機器のテストが行えます。

※1 払い出しを行う前に停電になった場合、復帰後に追加の払い出しは行いません。

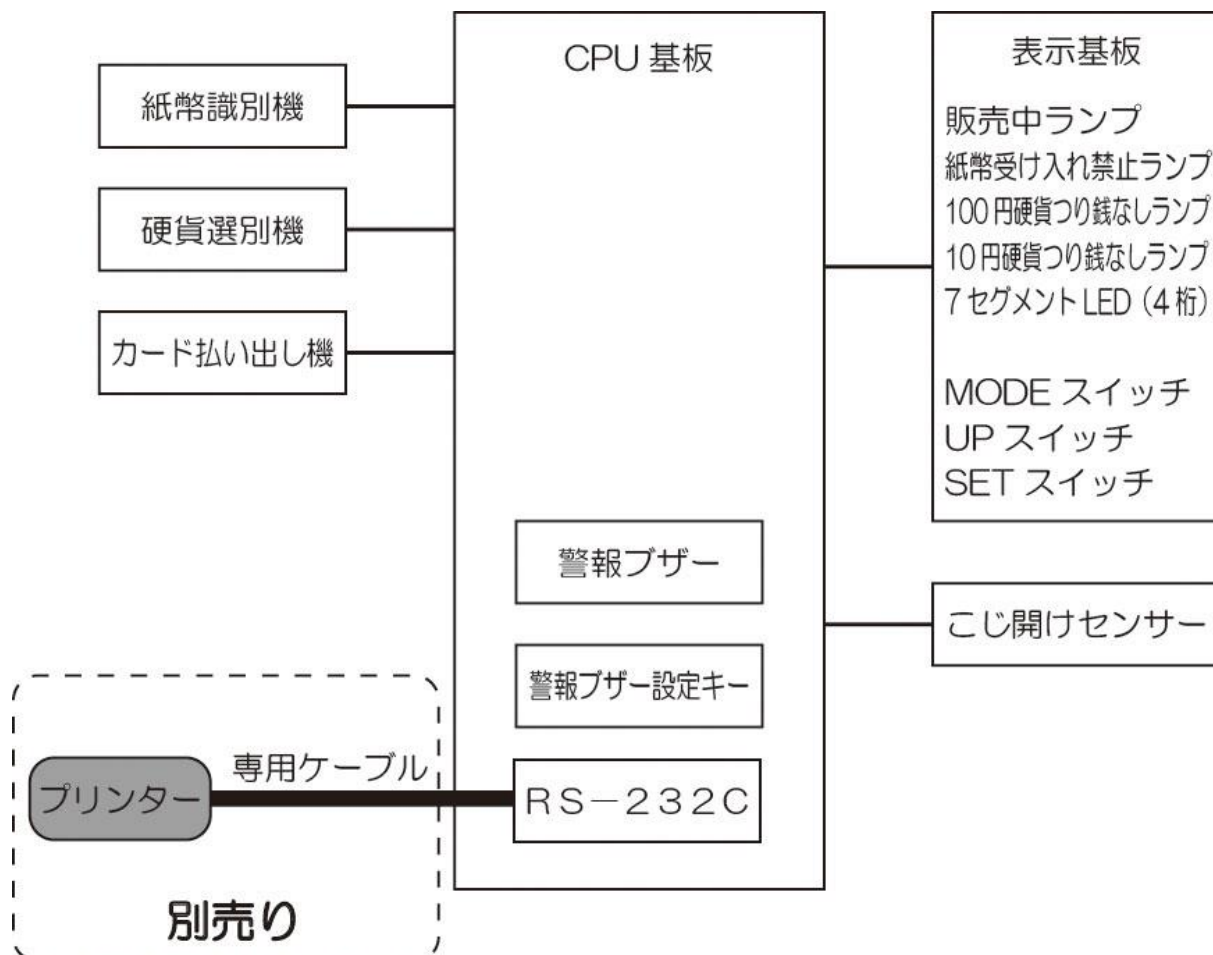
※2 投入した金額によっては、同一金種での払い戻しができない場合があります。

※3 メーカーオプションとなります。

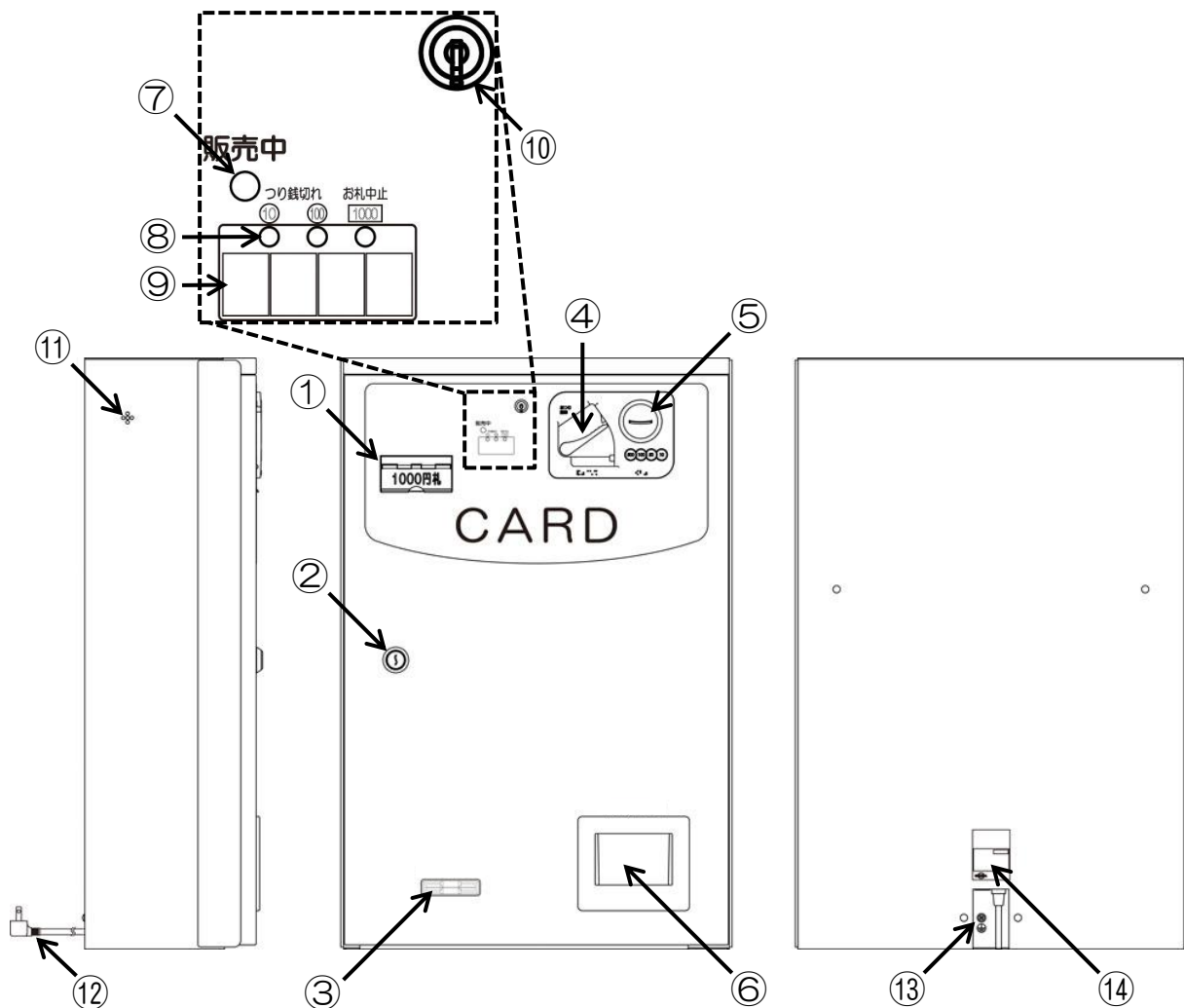
※4 専用プリンター、および本体と接続する為の専用ケーブルは別売りとなります。

3 構成

3-1 ブロック図

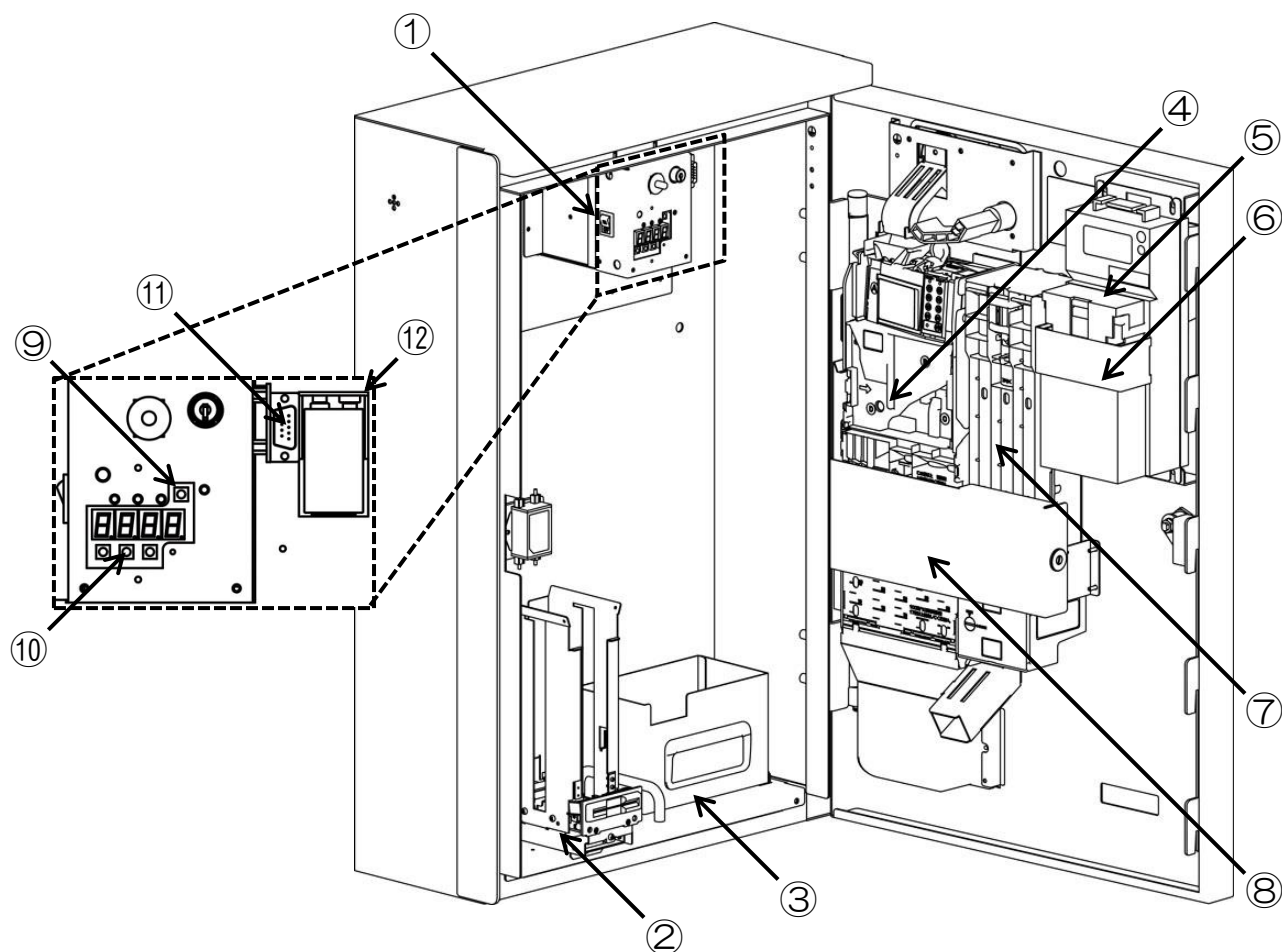


3-2 全体図



	名称	機能
①	紙幣挿入口	1000 円紙幣を裏表 4 方向で挿入できます。
②	扉錠	前面扉を開閉するための錠前です。
③	カード取り出し口	販売されたカードが出てきます。
④	返却レバー	購入を中止します。また、詰まった硬貨を返却します。
⑤	硬貨投入口	500 円硬貨、100 円硬貨、50 円硬貨、10 円硬貨を投入できます。
⑥	硬貨返却口	返却された硬貨が出てきます。
⑦	販売中ランプ	販売が可能な状態であれば点灯します。
⑧	状態ランプ	硬貨釣銭切れ、および紙幣受け入れ禁止の場合に点灯します。
⑨	4 桁数値表示器	設定された販売金額、エラーなどを表示します。 メンテナンスモードでは、各種設定値を表示します。
⑩	警報ブザー設定スイッチ	警報ブザーを ON/OFF するスイッチです。
⑪	警報ブザー発振孔	警報ブザーの発振音孔です。
⑫	電源プラグ	本機の電源供給用です。(AC100V 用)
⑬	アース端子	アース線の接続部です。
⑭	定格銘板	製品の型式、製造No、電気定格などを記載しています。

3-3 内部機構図

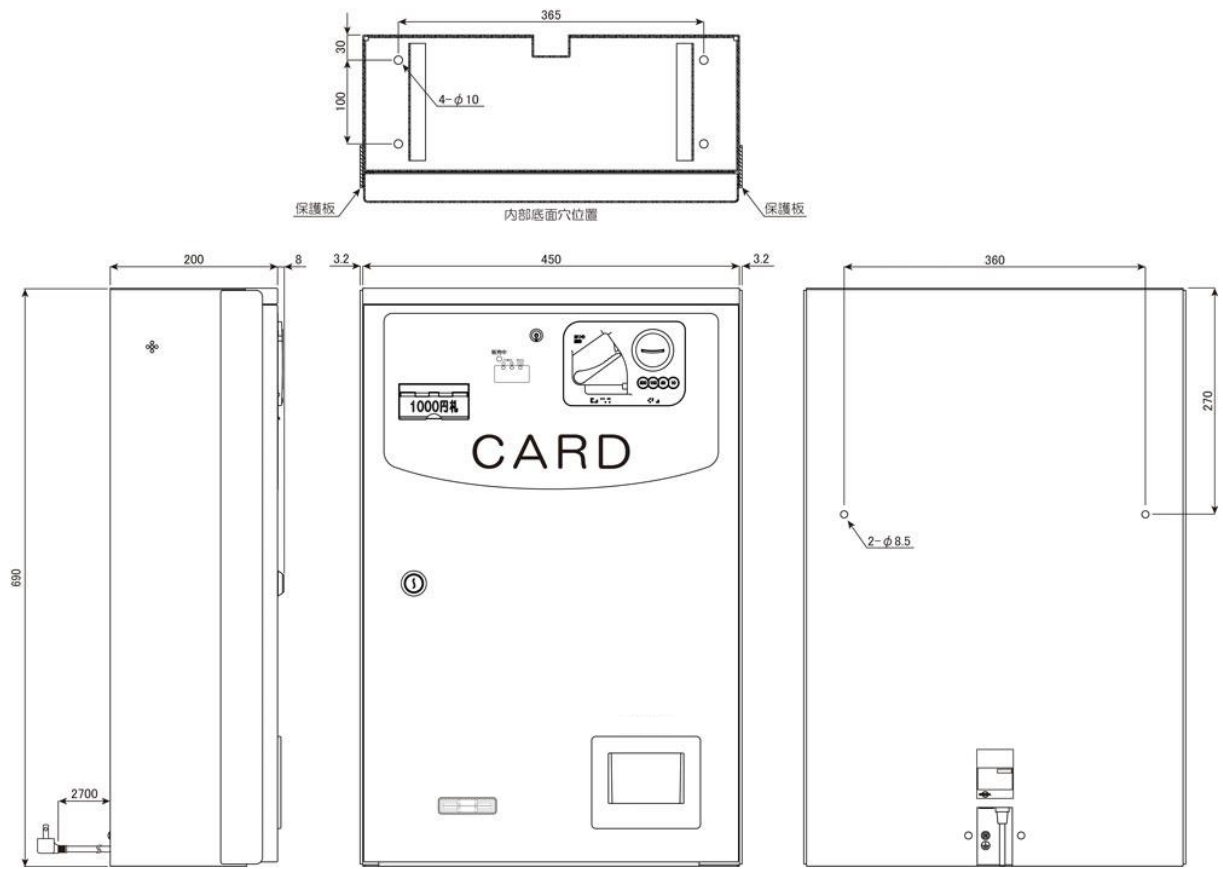


	名称	機能
①	電源スイッチ	本機の電源を ON/OFF します。
②	カード払い出し機	販売するカードを収納します。
③	硬貨収納箱	硬貨選別機の硬貨収納部が満タンだった場合の硬貨収納部です。
④	硬貨選別機	挿入された硬貨を選別し、収納します。
⑤	紙幣識別機	紙幣を取り込み、収納します。
⑥	紙幣識別機カバー※1	紙幣識別機の紙幣収納部を固定しています。
⑦	つり銭補助機※1	つり銭専用の 100 円硬貨払い出し機です。
⑧	硬貨選別機カバー※1	硬貨選別機、およびつり銭補助機の硬貨収納部を固定しています。
⑨	バッテリーチェックスイッチ	警報ブザー用電池をチェックします。
⑩	設定スイッチ	各種設定と状態表示切替に使用します。 左から MODE スwitch、UP スwitch、SET スwitchとなります。
⑪	プリンター用コネクタ	プリンターを接続します。
⑫	電池ボックス	警報ブザーを鳴らす為の電池を取り付けます。 図では警報ブザー用電池を取り付けてあります。

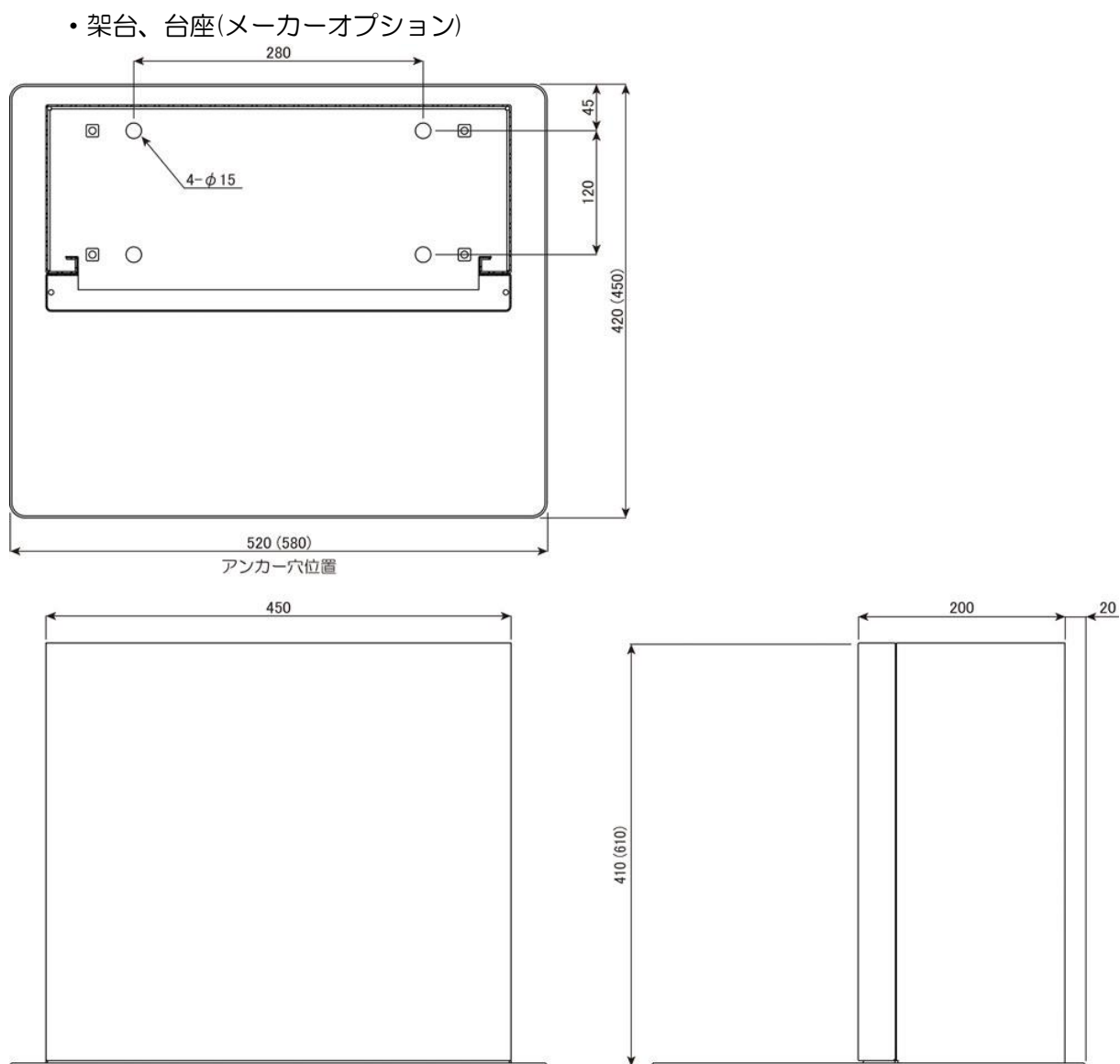
※1 メーカーオプションとなります。

3-4 寸法図

• 本体



(単位：mm)



(単位：mm)

※ 図の()内は設置後に本機の高さが1300mm用架台の寸法です。

4 設置

本機の設置作業は2名以上で行ってください。

※ 図はメーカーオプションの架台、台座付きで説明しています。

4-1 付属品

製品を開梱し、次の付属品が同梱されていることを確認してください。

● 本体付属品

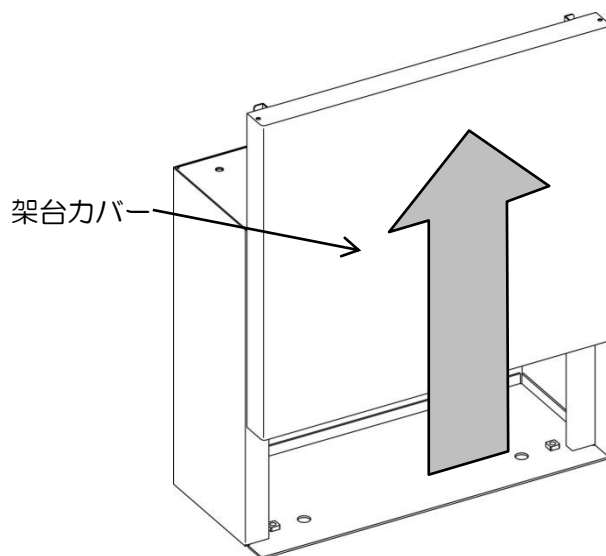
・扉錠用鍵	×2
・警報ブザー解除鍵	×2
・カード押さえ用ウェイト	×1
・警報ブザー用電池	×1

● 架台付属品

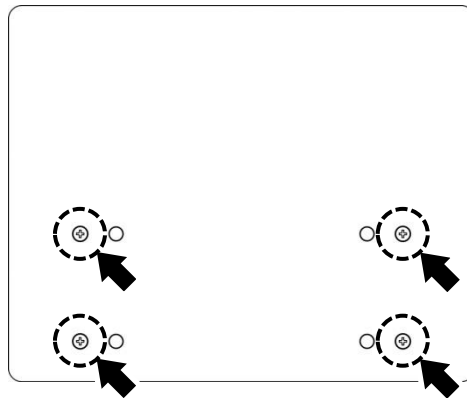
・本体取り付け用ネジ(M8×15 P3 アプセット)	×4
・台座取り付け用ネジ(M8×15 皿)	×4
・アンカーボルト(M10×60 C-1060)	×4

4-2 設置方法

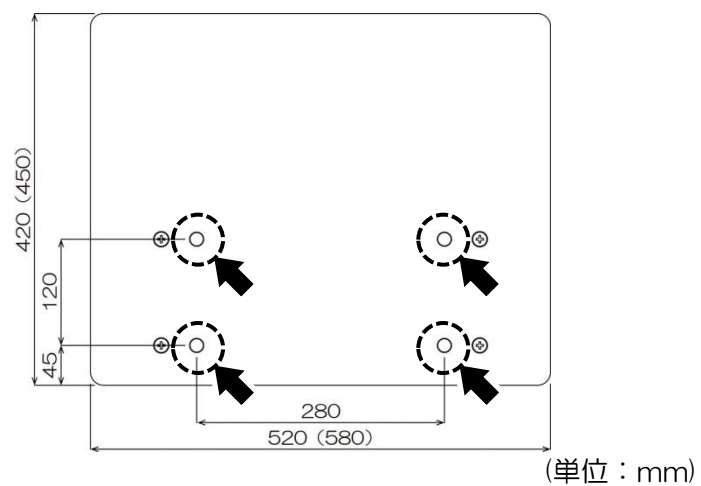
1. 架台カバーを上へ引き抜き、取り外します。



2. 架台本体に台座取り付け用ネジで台座を取り付けます。

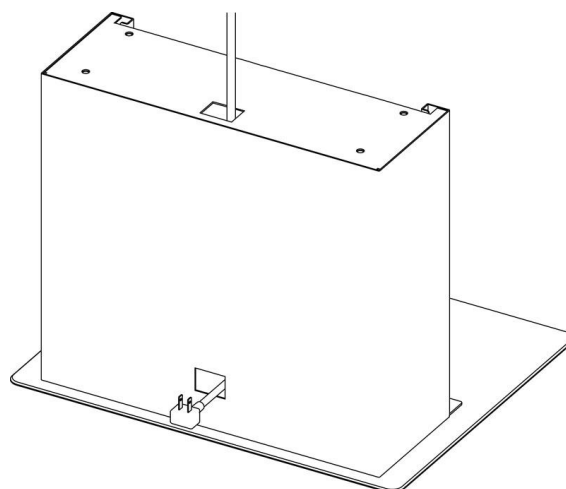


3. 台座付きの架台本体を設置位置に置き、アンカーボルトで固定します。

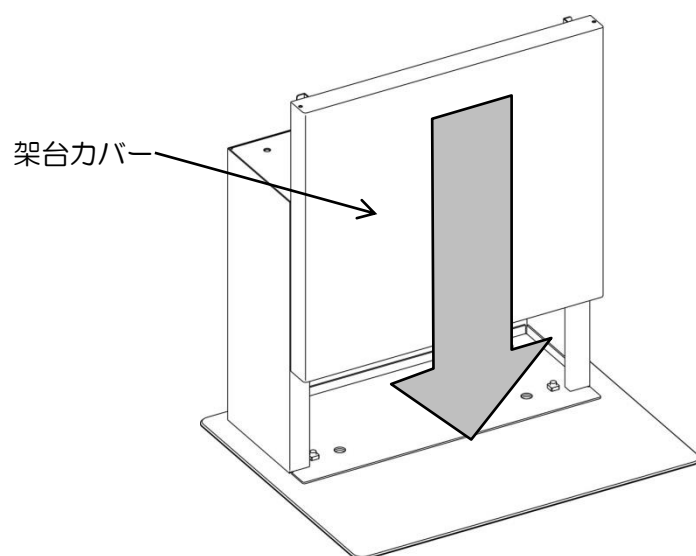


※ 図の()内は設置後に本機の高さが1300mm用架台の寸法です。

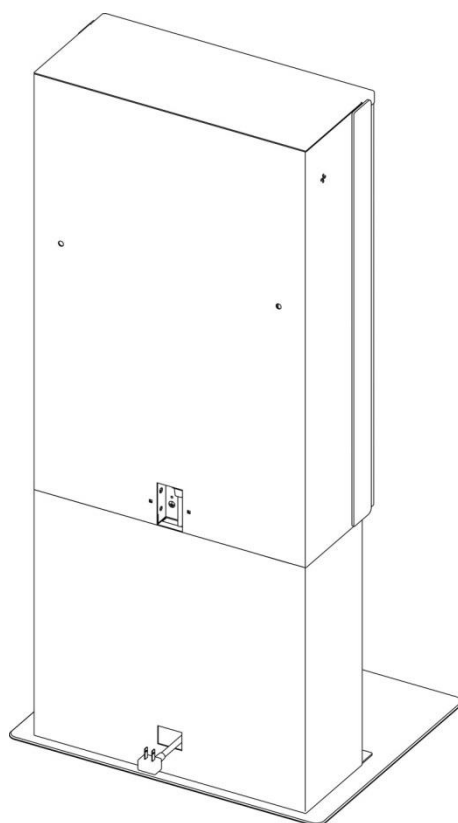
4. 本体の電源プラグを架台上部から開口部へ通します。



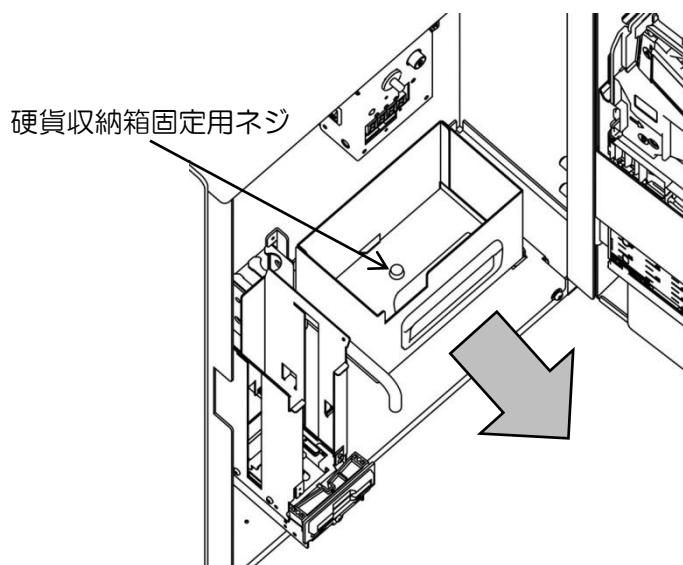
5. 架台カバーを架台に取り付けます。



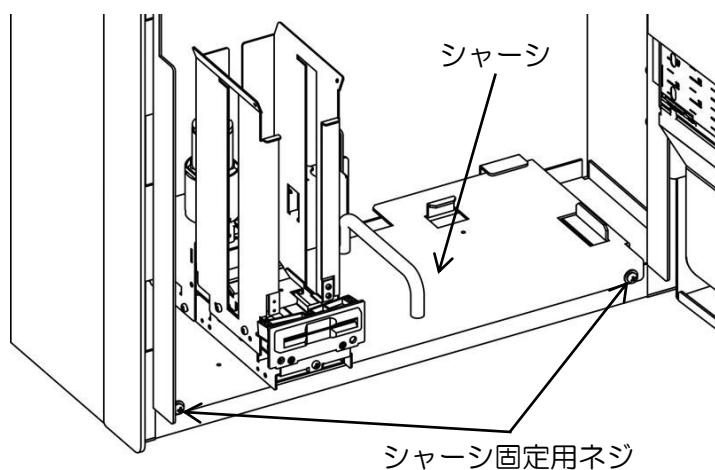
6. 架台に本体を載せます。電源コードを挟まないように注意してください。



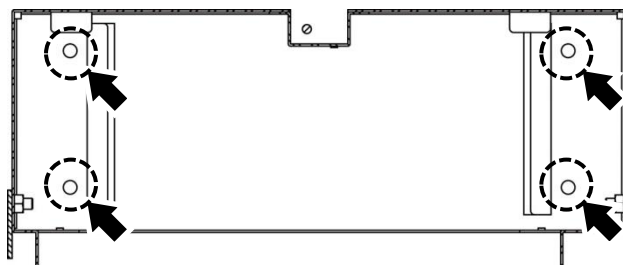
7. 本体の前面扉を開け、硬貨収納箱固定用ネジを外し、硬貨収納箱を引き出します。
硬貨収納箱固定用ネジは破棄してください。



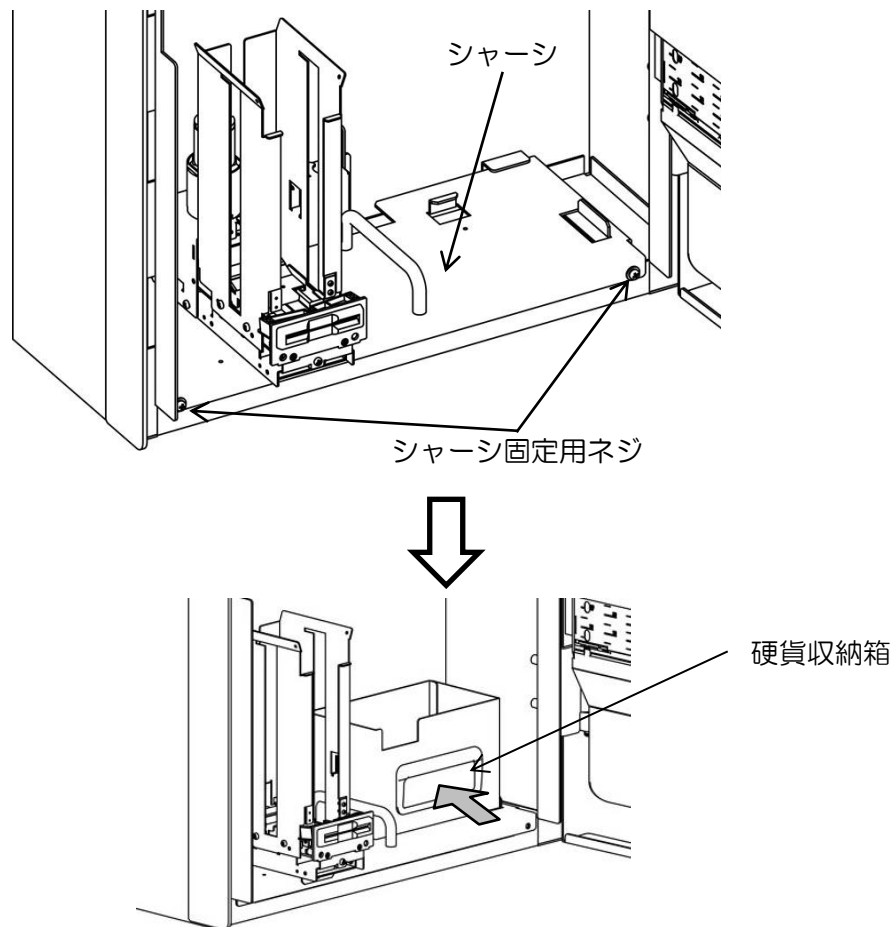
8. シャーシ固定用ネジを外してからシャーシを取り外します。



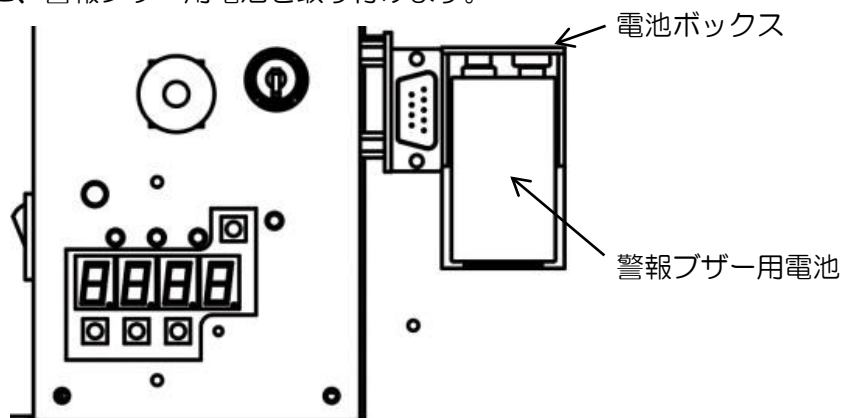
9. 本体の底穴に本体取り付け用ネジを取り付け、本体と架台を固定してください。



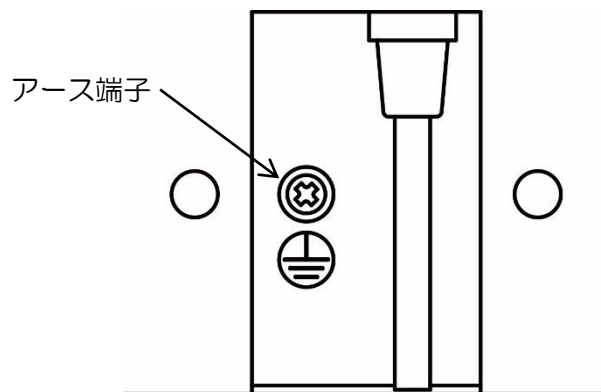
10. シャーシを元の位置に戻し、シャーシ固定用ネジで固定します。硬貨収納箱も元の場所に収納してください。



11. 電池ボックスに、警報ブザー用電池を取り付けます。



12.本体の背面下部にあるアース端子にアース線を接続します。



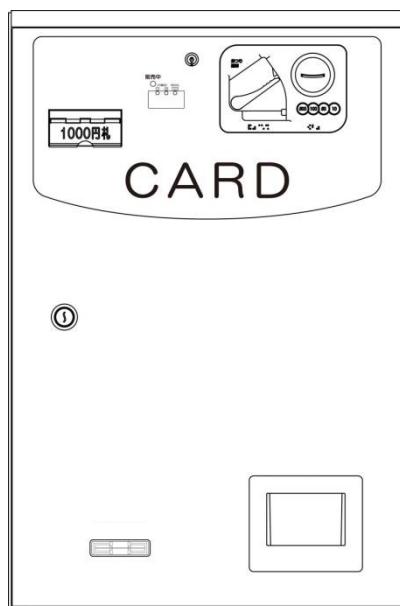
※ アース線は必ず接続してください。

※ 電気工事およびアース(接地)工事は、必ず電気工事士により工事を行ってください。

※ アース(接地)工事はD種(第3種)設置工事(接地抵抗値 100Ω以下)を行ってください。

※ アース線はガス管や水道管、電話機用のアース線には絶対に設置しないでください。

13.前面扉を閉め、設置は完了です。



4-3 盗難および転倒防止

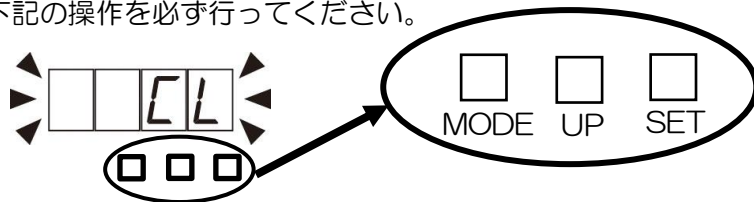
より安全に運営していただくために、背面の固定を行なってください。

※ 本体背面にある2ヶ所の壁面固定穴を利用してください。

5 初期設定

設置後に電源を ON にすると、出荷状態の[CL]点滅表示になっています。

下記の操作を必ず行ってください。



- 時計の設定 （詳細は 28 ページにも記載しています）
一旦電源を切り、MODE スイッチを押しながら電源を ON するとメンテナンスモードに入ります。

モード選択 表示から SET スイッチを押し時計設定を行います。

年(西暦下 2 桁)月日時分を設定します。設定後、秒は 0 秒になります。

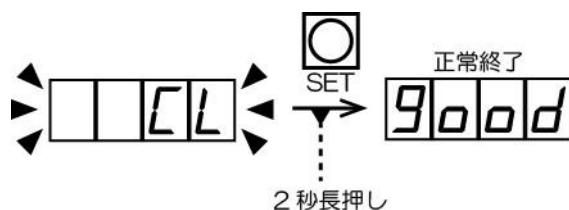


設定方法

- SET スイッチ:年設定値が表示されます。
設定変更時は、年月日時分の順に項目を移動します。
- UP スイッチ:設定値を加算します。また、1 秒以上の長押しで連続加算します。
- MODE スイッチ:モード選択へ戻ります

- 出荷状態解除

[CL]点滅表示中に、SET スイッチを 2 秒間長押しで、出荷状態を解除してください。



1. メンテナンスモード設定
「7-3 メンテナンスモード」(28 ページ)を参照し、必要に応じて設定の変更、確認を行ってください。
2. カードの補充
「10 カードの補充」(46 ページ)を参照して販売するカードを補充してください。
3. つり銭の補充
「8 つり銭の補充」(38 ページ)を参照して硬貨を補充してください。

これで初期設定は完了です。

6 販売中の動作

6-1 状態ランプ

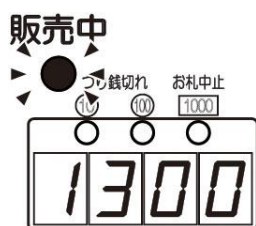
状態ランプが点灯している場合は下記の対応を行ってください。

表示	内容	対応
	10 円硬貨つり銭なし	10 円硬貨のつり銭を補充してください。
	100 円硬貨つり銭なし	100 円硬貨のつり銭を補充してください。
	紙幣受け入れ禁止	紙幣識別機の紙幣を回収してください。 または、つり銭を補充してください。

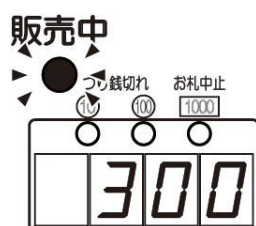
6-2 購入の仕方

(例 1) 販売金額が 1300 円のカードを 1000 円紙幣 1 枚、500 円硬貨 1 枚で購入する場合

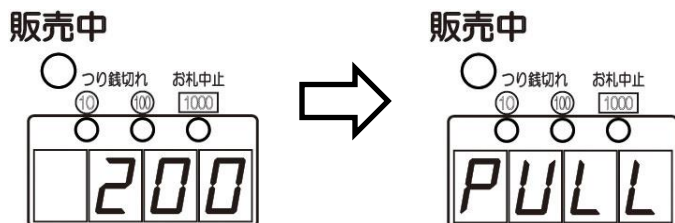
1. 販売中ランプが点灯し、状態ランプが消灯している事を確認します。



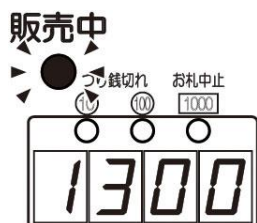
2. 1000 円紙幣を 1 枚、500 円硬貨を 1 枚投入します。表示は投入した金額分減算します。
(図は 1000 円紙幣を投入した状態)



3. 販売金額以上の金銭を投入すると、超過金額分の 200 円が表示され、つり銭とカードの払い出しを開始します。

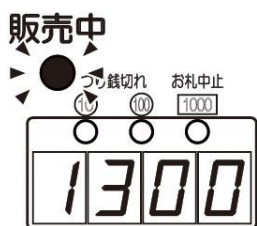


4. 払い出されたカードを抜き取ると、販売金額を表示します。



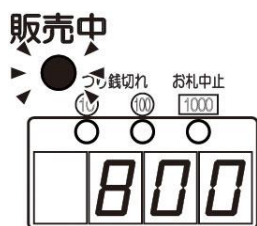
(例 2) 販売金額が 1300 円のカードを 500 円硬貨 2 枚、100 円硬貨 3 枚で購入する場合

1. 販売中ランプが点灯している事を確認します。

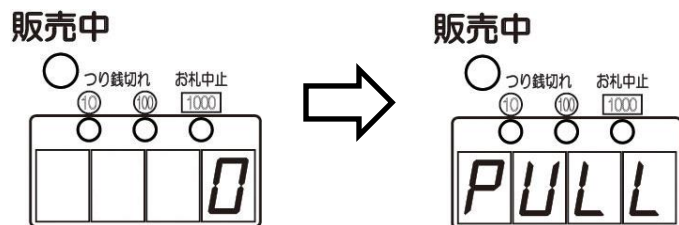


※ 状態ランプが点灯している場合でも、販売金額と同額の金銭を投入すれば購入できます。

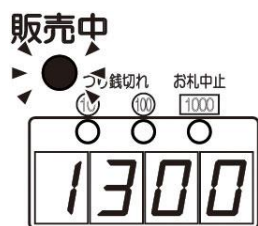
2. 500 円硬貨を 2 枚、100 円硬貨を 3 枚投入します。表示は投入した金額分減算します。
(図は 500 円硬貨を投入した状態)



3. 販売金額分の金銭を投入すると、超過金額がないので、0 が表示されます。その後、カードの払い出しを開始します。



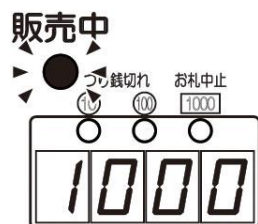
4. 払い出されたカードを抜き取ると、販売金額を表示します。



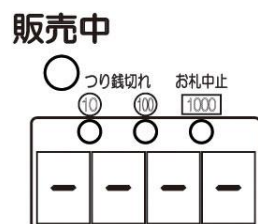
6-3 購入取消の仕方

(例) 販売金額が 3000 円のカードを 1000 円紙幣 2 枚投入中にキャンセルする場合

1. 残金 1000 円表示中に返却レバーを押します。

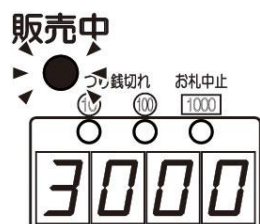


2. 返却中表示になり、2000 円分の金銭を返却します。



※ 本機の設定、つり銭の状態によって、返却する金種が変わります。

3. 返却後は販売金額表示になります。



7 モード一覧

7-1 販売モード

表示	モード名	機能
	トータルカウンタ 枚数表示	トータルのカード販売枚数を表示します。 (リセットなし 4桁表示)
	期間カウンタ A 枚数表示	期間A内のカード販売枚数を表示します。また、 明細書印字、更新操作を行います。 (リセットあり 3桁表示)
	期間カウンタ B 枚数表示	期間B内のカード販売枚数を表示します。また、 明細書印字、更新操作を行います。 (リセットあり 3桁表示)
	バックアップ金額消去※1	停電時の残金額表示をクリアします。

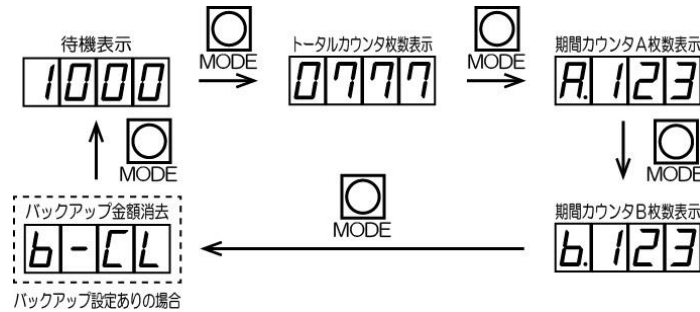
※1 バックアップ設定 OFF のときは、表示されません。

7-2 販売モード内の流れ

販売モードは、待機状態で MODE スイッチを押すことで切り替わります。

※ 購入途中はモード切り替えができません。

※ 10 秒以上操作を行わなければ待機表示に戻ります。



1. トータルカウンタ枚数表示

トータル販売枚数を確認します。

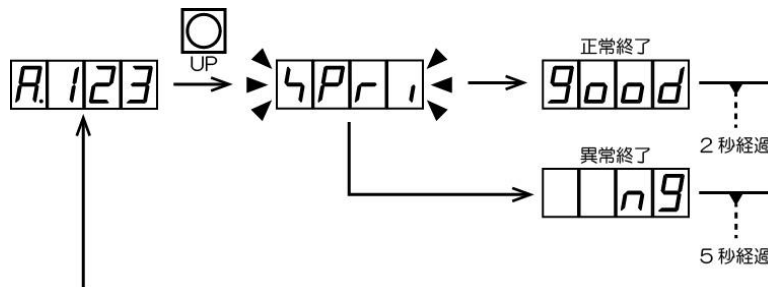
4 桁で表示し、リセットは行えません。

2. 期間カウンタ A 枚数表示

期間 A のデータ更新をしてからの販売枚数を確認します。

3 桁で表示し、期間 A のデータ更新でリセットされます。

• UP スイッチで期間 A の売上明細書を印字します。



• 印字内容

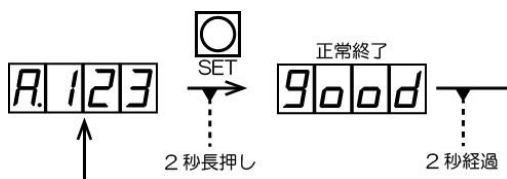
カード 売上明細書	
販売期間 (期間カウンタ A)	
20xx 年 xx 月 xx 日 xx 時 xx 分	から
20xx 年 xx 月 xx 日 xx 時 xx 分	まで
伝票No.	xxx
機械No.	xxx
	(xxxx)
前回カウント値	xxx
今回カウント値	xxx
販売枚数	xxx 枚
販売単価	x, xxx 円
販売金額	x, xxx 円
お客様確認サイン	
オペレータ確認サイン	

• 項目説明

販売期間	期間 A データを更新した日付から現在の日付
伝票No.	期間 A データを更新した回数
機械No.	設定されている機械No. ()内は 10 進数表記
前回カウント値	期間 A データを更新した時の販売回数※1
今回カウント値	稼働を開始してからの販売回数※1
販売枚数	期間 A データを更新してからの販売枚数
販売単価	設定されている販売金額
販売金額	販売枚数と販売単価で計算した合計販売金額

※1 初期化は行えません。

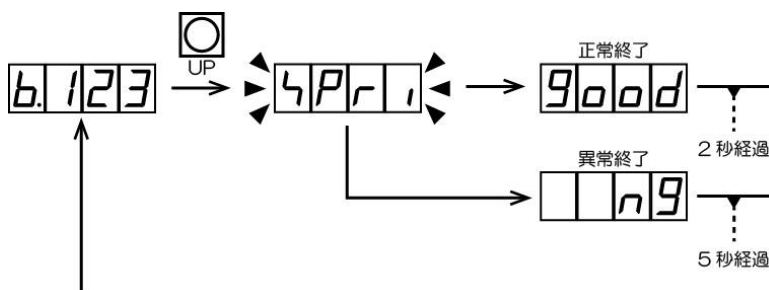
- SET スイッチを 2 秒間長押しで、各期間カウンタ(期間カウンタ B は含まない)をクリアし、伝票No.A を 1 加算します。



3. 期間カウンタ B 枚数表示

期間 B のデータ更新をしてからの販売枚数を確認します。
3 桁で表示し、期間 B のデータ更新でリセットされます。

- UP スイッチで期間 B の売上明細書を印字します。



• 印字内容

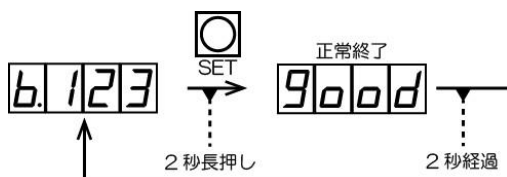
カード 売上明細書	
販売期間 (期間カウンタ B)	
20xx 年 xx 月 xx 日 xx 時 xx 分	から
20xx 年 xx 月 xx 日 xx 時 xx 分	まで
伝票No.	xxx
機械No.	xxx
	(xxxx)
前回カウント値	xxx
今回カウント値	xxx
販売枚数	xxx 枚
販売単価	x, xxx 円
販売金額	x, xxx 円
お客様確認サイン	
オペレータ確認サイン	

• 項目説明

販売期間	期間 B データを更新した日付から現在の日付
伝票No.	期間 B データを更新した回数
機械No.	設定されている機械No. ()内は 10 進数表記
前回カウント値	期間 B データを更新した時の販売回数※1
今回カウント値	稼働を開始してからの販売回数※1
販売枚数	期間 B データを更新してからの販売枚数
販売単価	設定されている販売金額
販売金額	販売枚数と販売単価で計算した合計販売金額

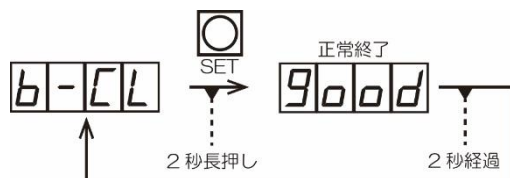
※1 初期化は行えません。

- SET スイッチを 2 秒間長押しで、期間カウンタ B をクリアし、伝票No.B を 1 加算します。



4. バックアップ金額消去

購入途中で停電が発生し、バックアップされた残金額がある場合に、消去を行います。
販売金額が 2000 円でバックアップされた残金が 1000 円の場合、残金額の 1000 円を消去して、販売金額の 2000 円の表示に戻します。
バックアップ設定が「OFF」の場合、この項目は表示されません。



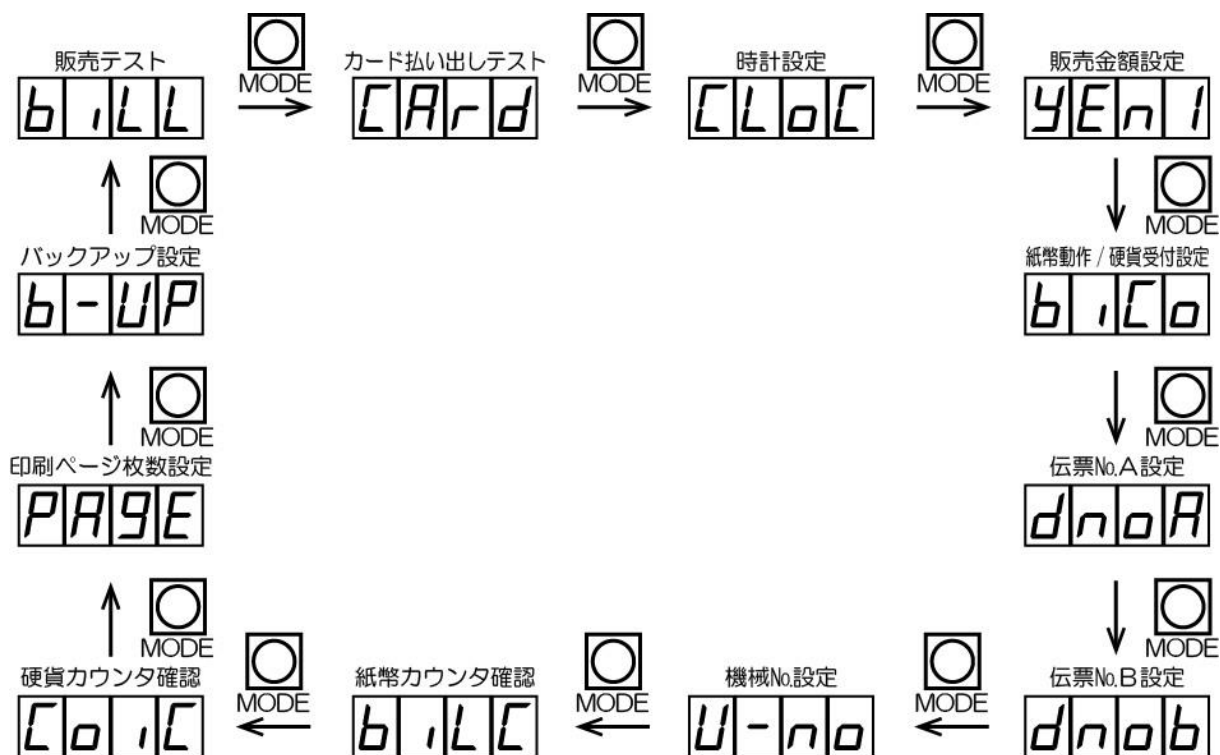
7-3 メンテナンスモード

表示	モード名	機能
	販売テスト	販売テストを行います。
	カード払い出しテスト	カード払い出しのテストを行います。
	時計設定	年月日、時間を設定します。
	販売金額設定	販売金額を設定します。
	紙幣動作/硬貨受付設定	紙幣保留動作の有無と 10 円、50 円硬貨受付の有無を設定します。
	伝票No.A 設定	伝票No.A を設定します。
	伝票No.B 設定	伝票No.B を設定します。
	機械No.設定	機械No.を設定します。
	紙幣カウンタ確認	紙幣が挿入された枚数のトータルカウンタ、期間カウンタを表示します。
	硬貨カウンタ確認	各硬貨が投入された枚数のトータルカウンタ、期間カウンタを表示します。
	印刷ページ枚数設定	売上明細書を印字する枚数の設定をします。
	バックアップ設定	購入途中での停電時に、残金額のバックアップ有無を設定します。

7-4 メンテナンスモードの流れ

メンテナンスモードは、各種テストや各機能設定を行います。

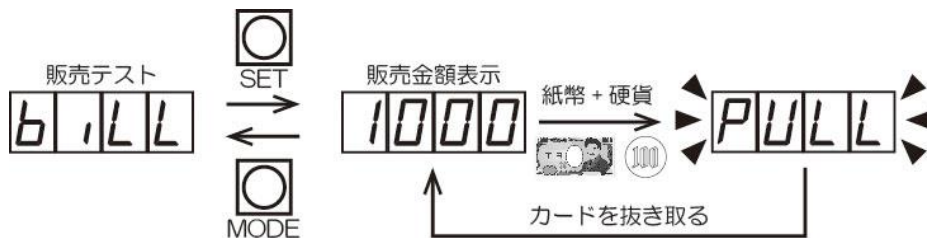
MODEスイッチを押しながら電源をONにするとメンテナンスモードになります。MODEスイッチはバージョン表示が消えるまで押し続けてください。



1. 販売テスト

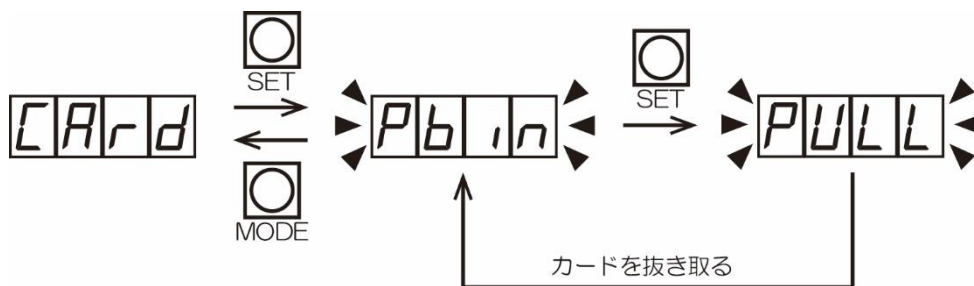
紙幣識別機、硬貨選別機の動作確認を行います。

※ テストで使用した紙幣・硬貨はテスト前の状態に戻してください。



2. カード払い出しテスト

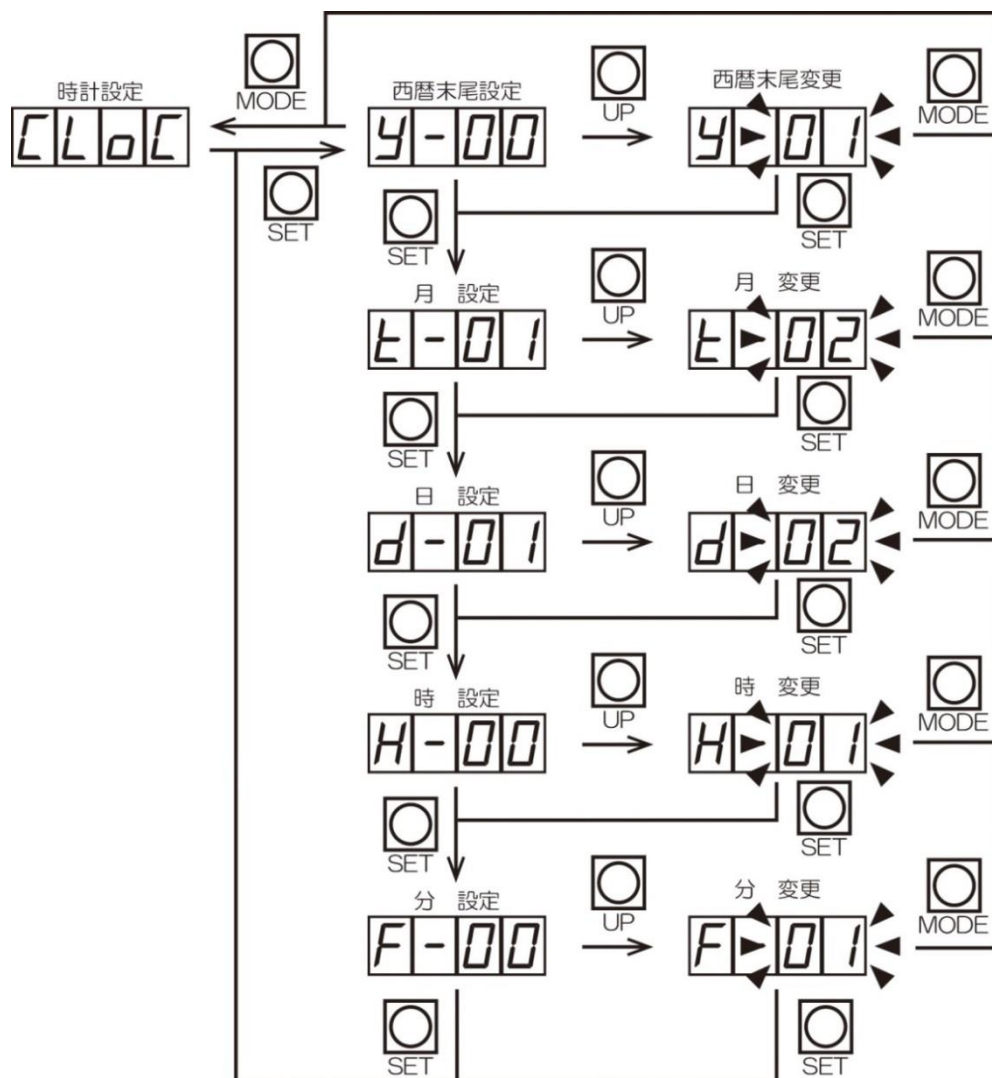
カード払い出し機の動作確認を行います。



3. 時計設定

年月日と現在時刻の設定を行います。

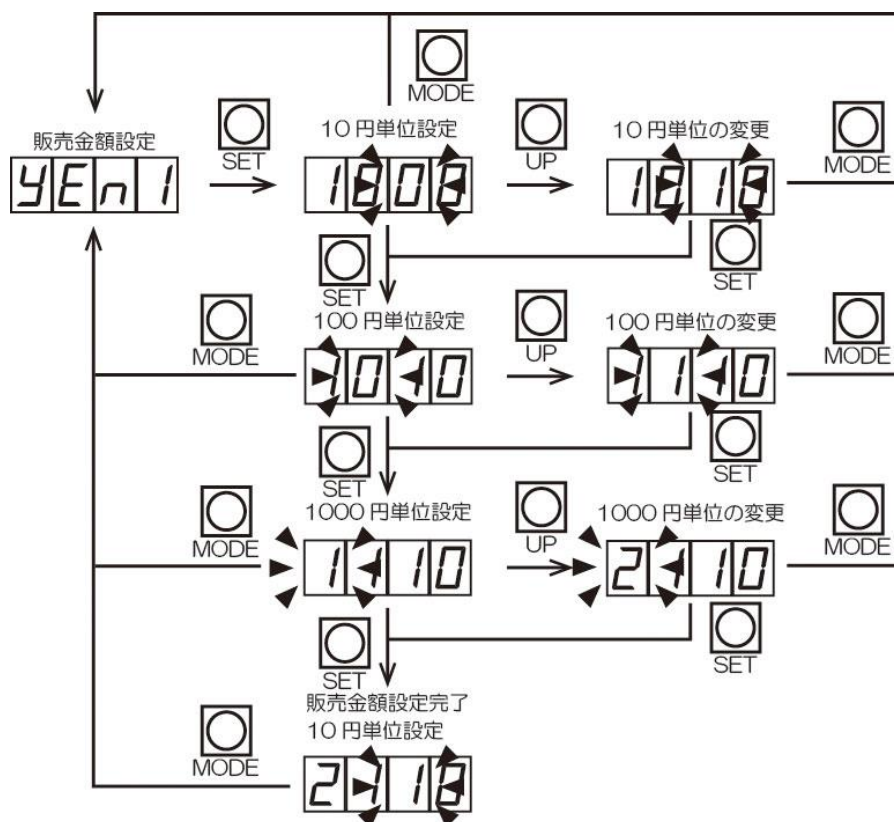
※ 初期値：00 年 01 月 01 日 00 時 00 分



4. 販売金額設定

販売金額の設定を行います。

※ 初期値：1000 円 範囲：10～9990 円

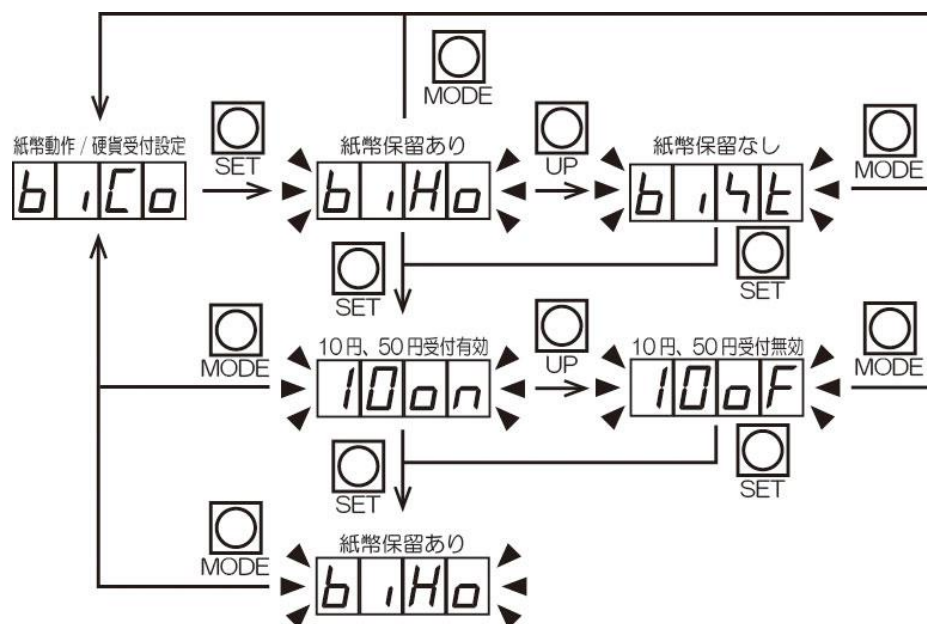


5. 紙幣動作/硬貨受付設定

紙幣識別機の保留動作有効/無効と、10 円、50 円硬貨受け付けの設定をします。

※ 初期値：紙幣識別機保留動作あり/10 円、50 円有効

※ 販売金額設定を 10 円単位で設定した場合、10 円、50 円硬貨受け付けは有効で固定されます。

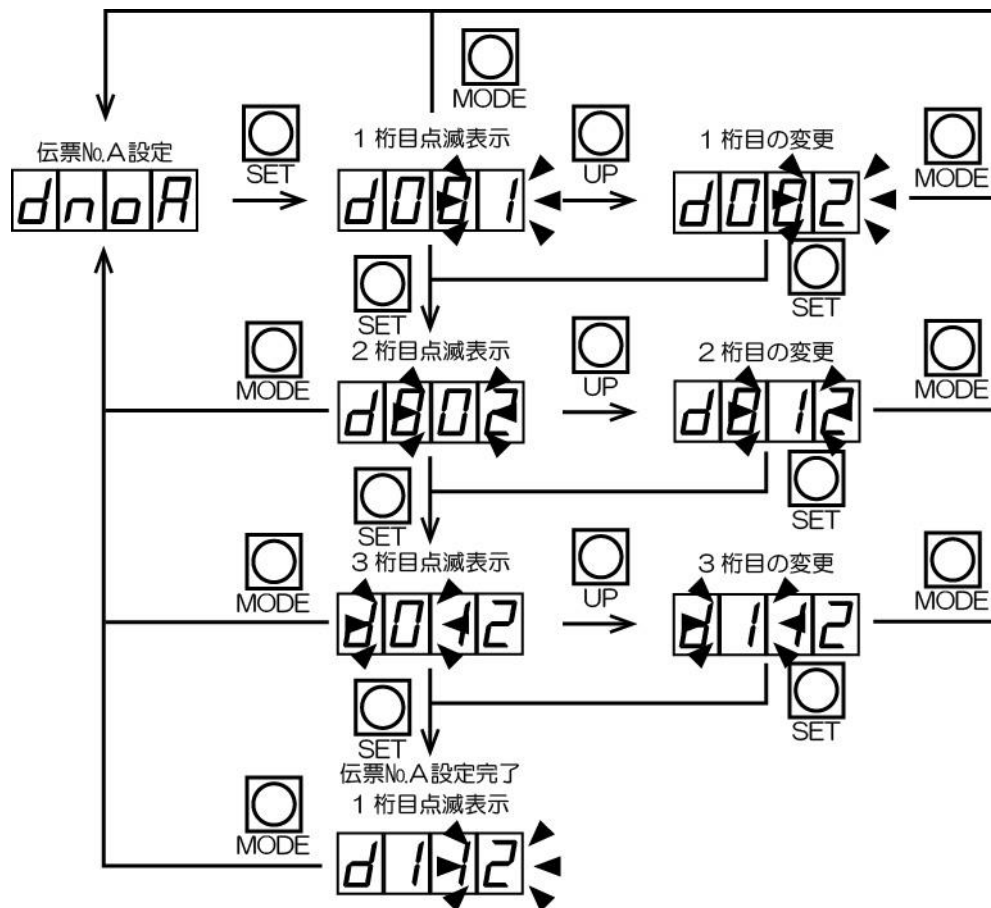


6. 伝票No.A 設定

伝票No.A を設定します。

期間 A のデータ更新をする毎にカウントアップします。

※ 初期値：0(出荷時のみ) 範囲：1～999

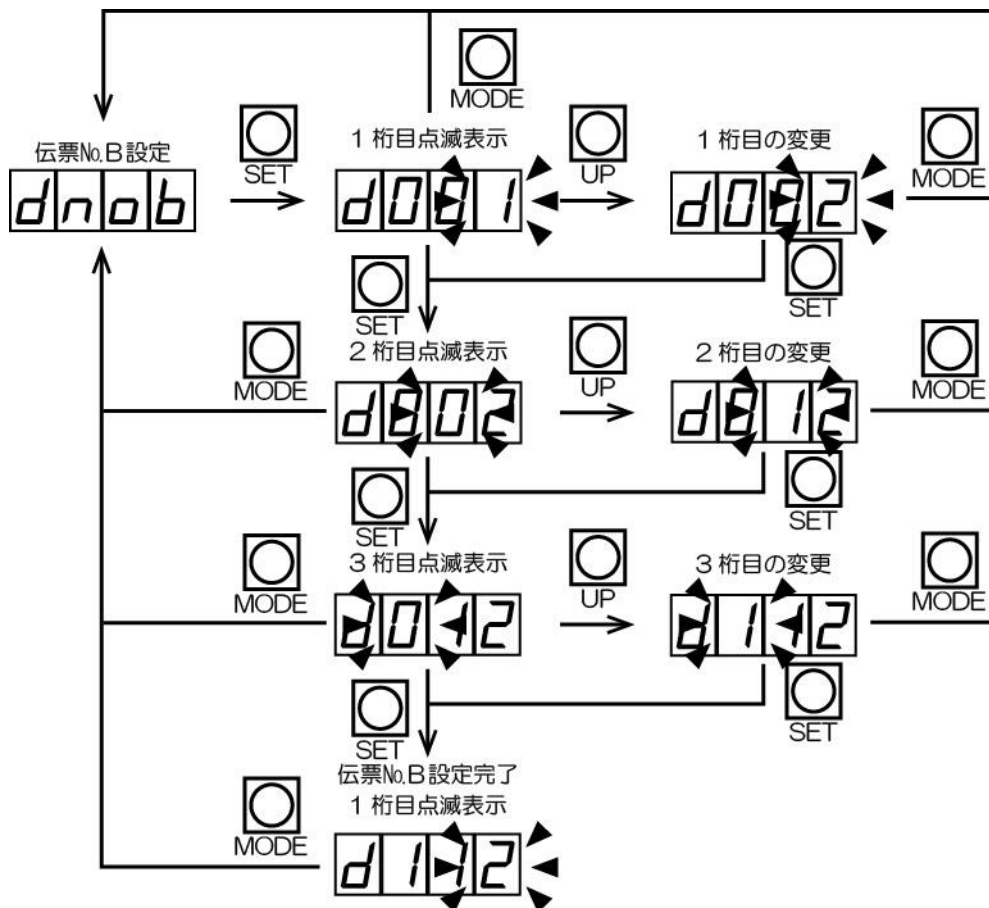


7. 伝票No.B 設定

伝票No.B を設定します。

期間 B のデータ更新をする毎にカウントアップします。

※ 初期値：0(出荷時のみ) 範囲：1～999

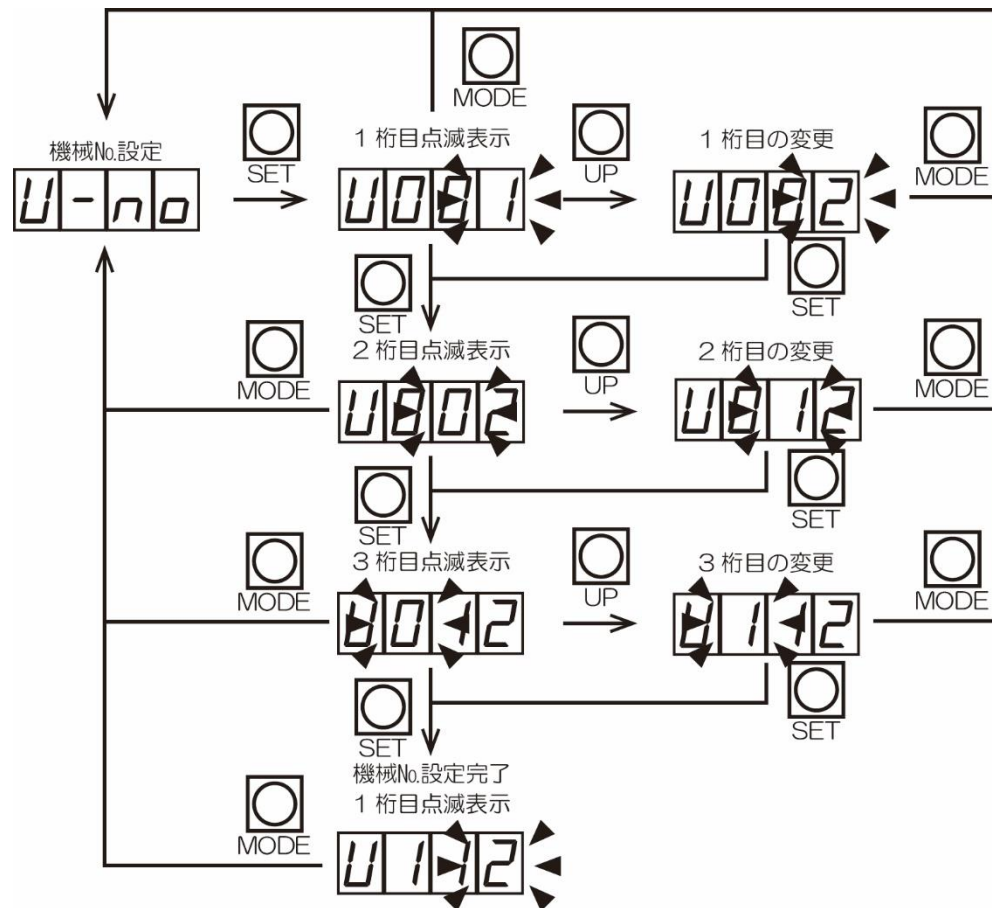


8. 機械No.設定

機械No.を設定します。

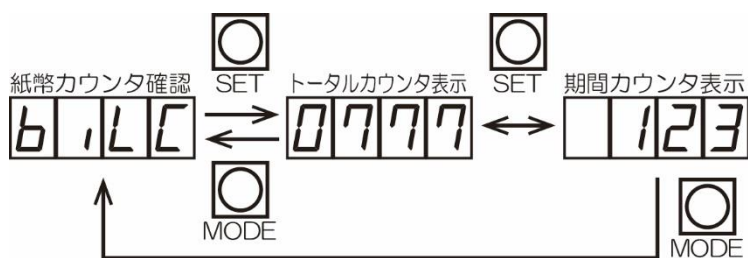
値は 16 進数で設定します。

※ 初期値：001 範囲：001~FFF(4095)



9. 紙幣カウンタ確認

挿入された紙幣枚数のトータルカウンタ、期間カウンタを確認します。



※ トータルカウンタ表示は 4 桁、期間カウンタ表示は 3 桁で表示します。

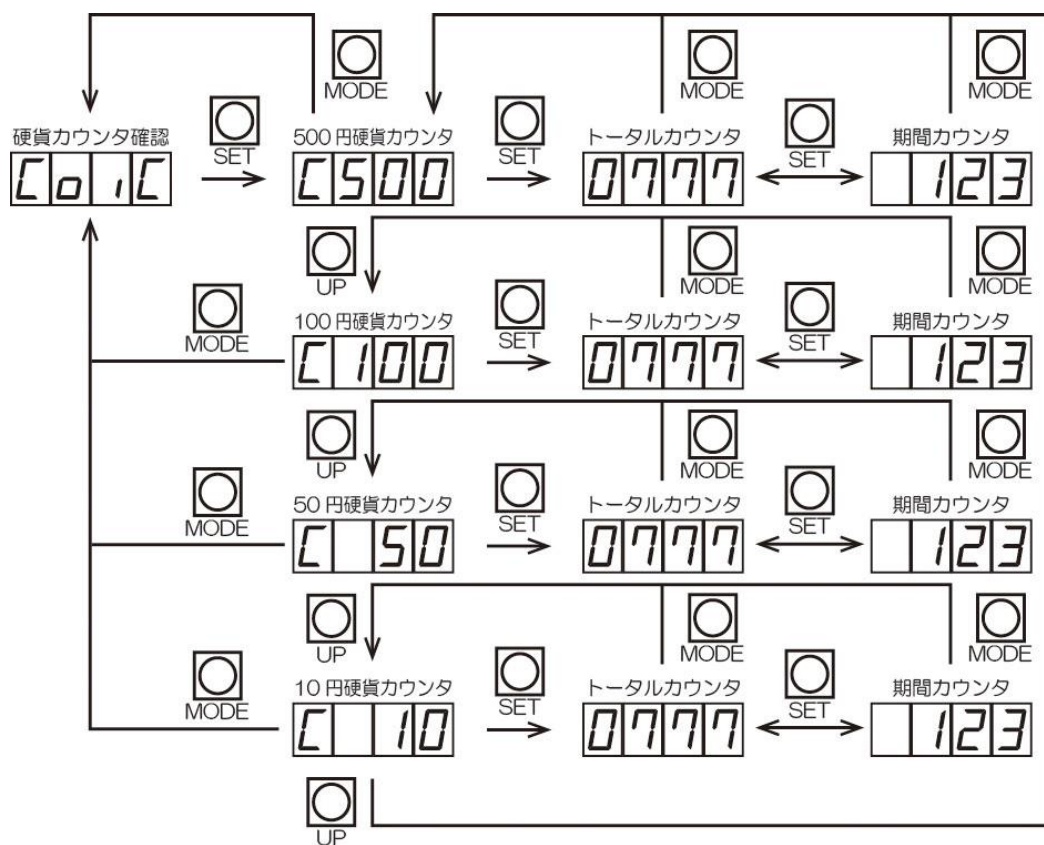
トータルカウンタの範囲：0000～9999

期間カウンタの範囲：0～999

各カウンタは、上限範囲を超えると「0」に戻ります。

10. 硬貨枚数カウンタ確認

硬貨の投入枚数と払い出し枚数を差分したトータルカウンタ、期間カウンタを確認します。



※ トータルカウンタ表示は 4 桁、期間カウンタ表示は 3 桁で表示します。

トータルカウンタの範囲：-9999～9999

期間カウンタの範囲：-999～999

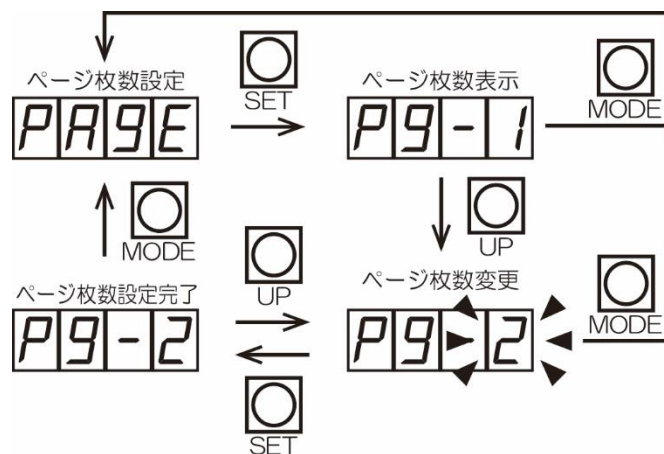
各カウンタは、範囲を超えると「0」になります。

※ 各カウンタはマイナス値になると「.(ドット)」付き表示になります。

11. ページ枚数設定

売上明細書の発行枚数の設定を行います。

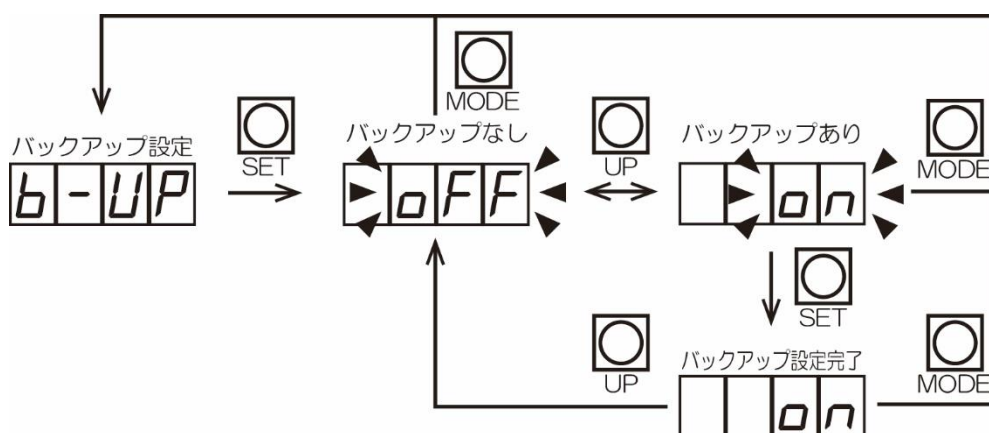
※初期値：1 枚 範囲：1 枚～2 枚



12. バックアップ設定

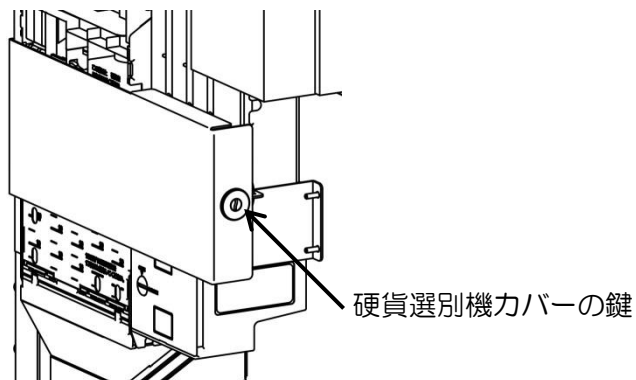
購入中に停電が発生し、復帰した場合に、停電前の購入途中金額をバックアップしておくかどうかの設定を行います。

※初期値：バックアップなし



8 つり銭の補充

メーカーオプションの硬貨選別機カバーが付いている場合は、施錠を外してから作業してください。



8-1 硬貨選別機のつり銭補充

電源は OFF にして作業を行ってください。

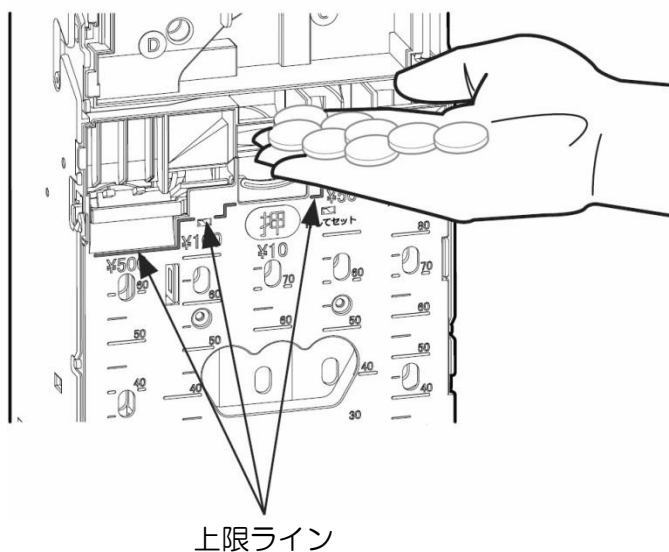
各硬貨は下記の枚数以上補充してください。※1

- 500 円硬貨：12 枚以上(上限：約 70 枚)
- 100 円硬貨：17 枚以上(上限：約 77 枚)
- 50 円硬貨：16 枚以上(上限：約 82 枚)
- 10 円硬貨：17 枚以上(上限：約 92 枚)

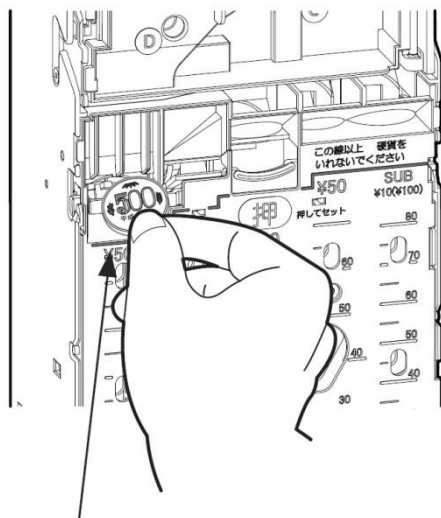
※1 サブチューブには 100 円硬貨を最大で約 87 枚補充してください。

8-1-1 つり銭補給口から補充

1. 100 円硬貨、50 円硬貨、10 円硬貨をつり銭補給口より各チューブに入れます。
上限ライン以上には硬貨を入れないでください。

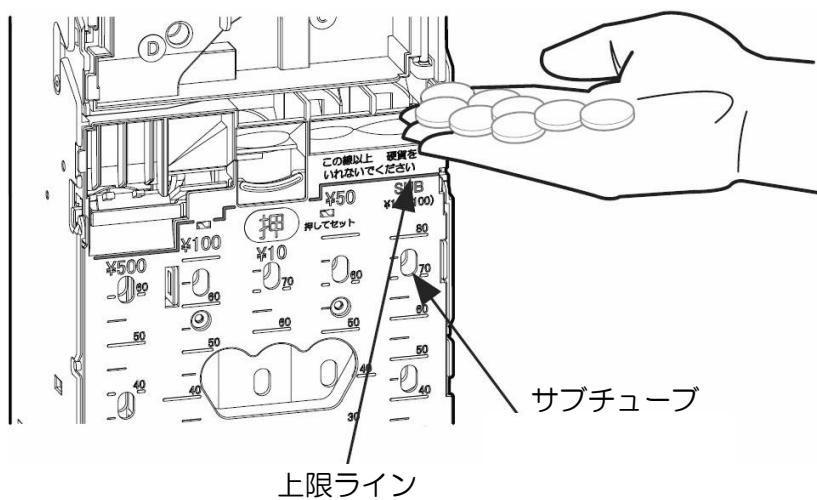


2. 500 円硬貨をつり銭補給口より 1 枚ずつチューブに入れます。
上限ライン以上には硬貨を入れないでください。



上限ライン

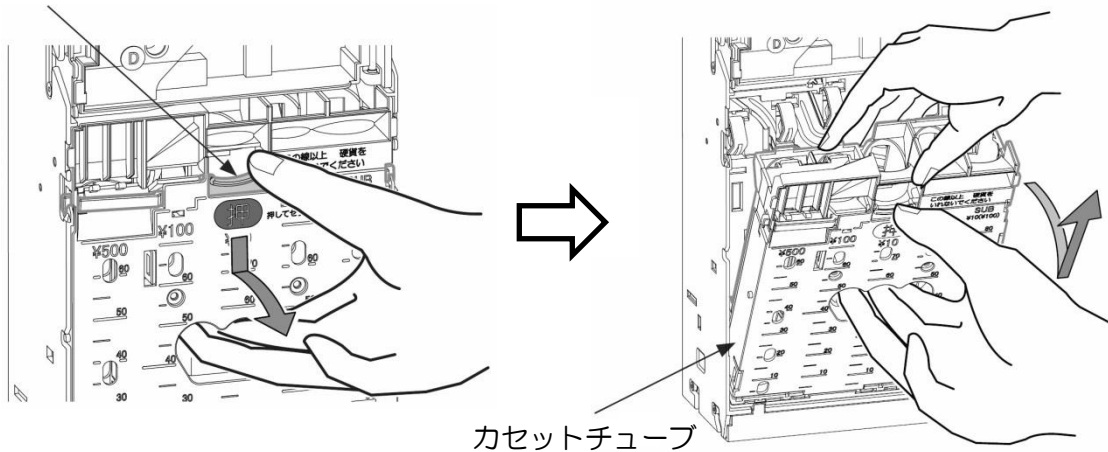
3. サブチューブには 100 円硬貨入れます。
上限ライン以上には硬貨を入れないでください。



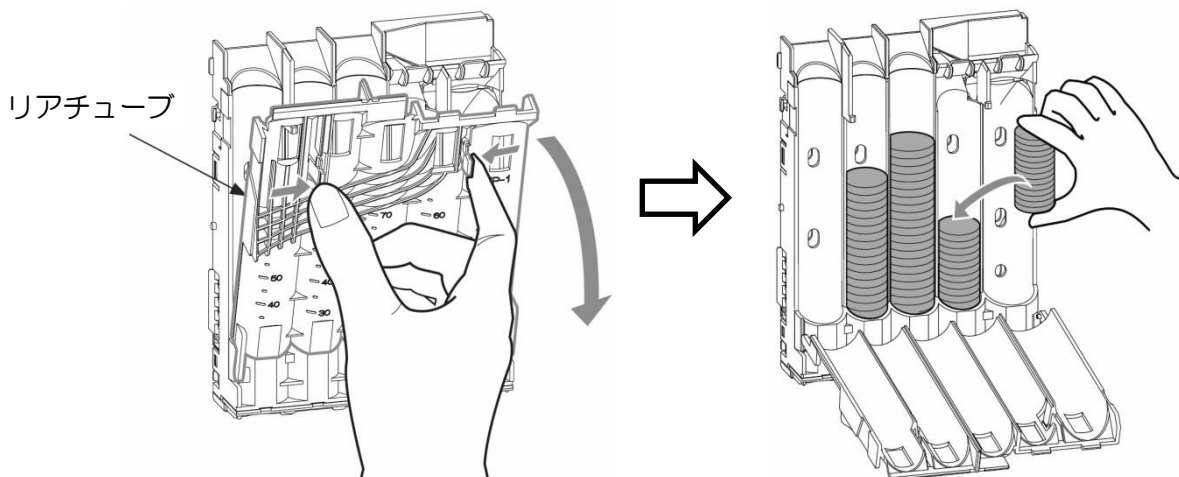
8-1-2 カセットチューブを取り外して補充

1. カセットラッチを押し下げ、カセットチューブを手前に倒して取り外します。チューブ内に硬貨が入っていると重量がありますので両手で取り外す様にしてください。

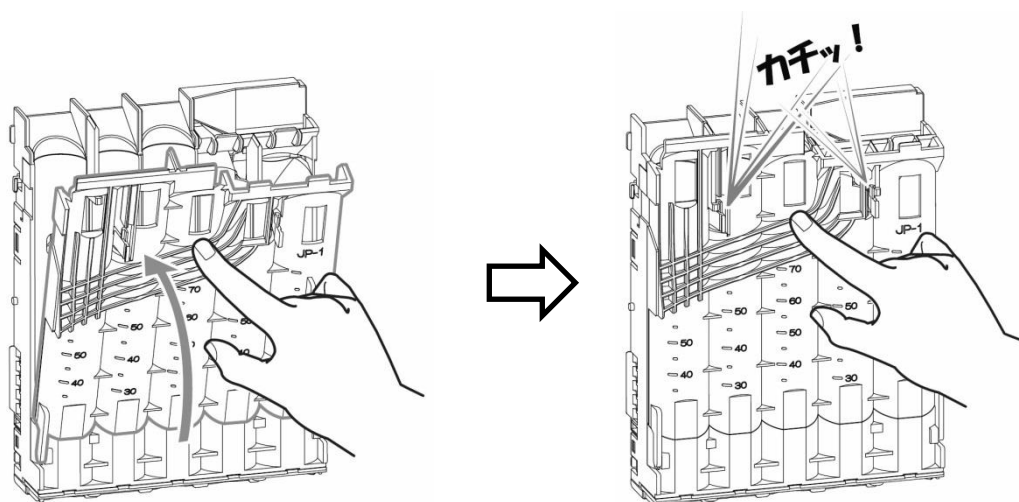
カセットラッチ



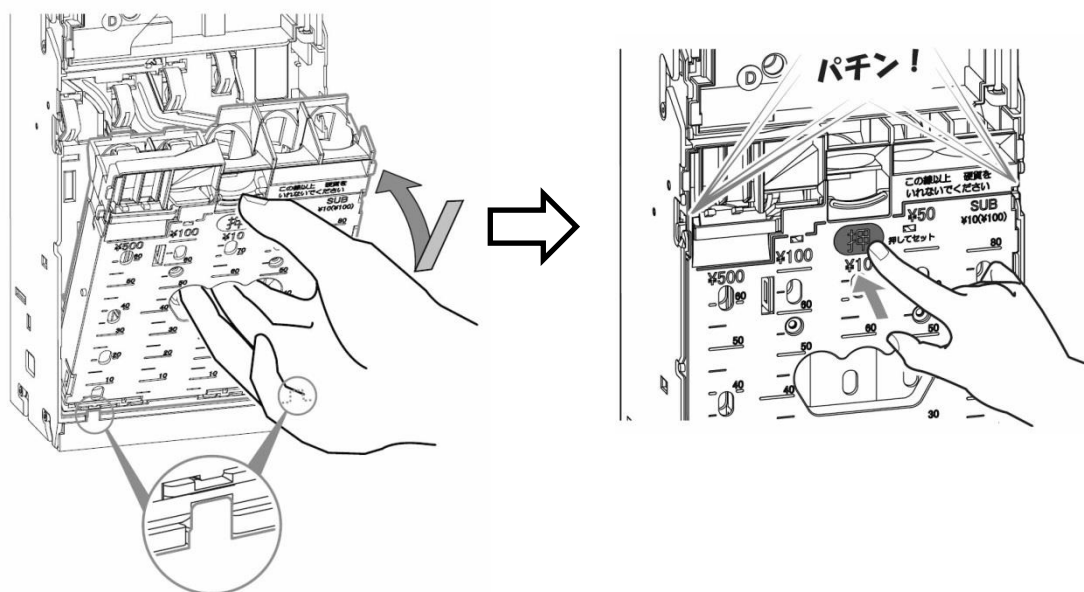
2. リアチューブのラッチを軽く内側に押しながら開き、各チューブに硬貨を入れます。



3. リアチューブを“カチッ”と音がするまで軽く押しして閉じます。



4. カセットチューブ下部の凹部を硬貨選別機の凸部にひっかけて、カセットチューブの「押」の箇所を“パチン”と音がするまで押して取り付けます。



8-2 つり銭補助機のつり銭補充(メーカーオプション)

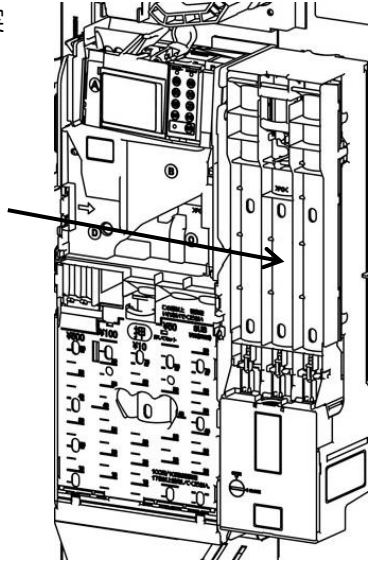
電源は OFF にして作業を行ってください。

100 円硬貨はチューブ 1 本につき、約 140 枚補充してください。

硬貨選別機側の 100 円硬貨も補充してください。硬貨選別機側がつり銭ありの状態でない
と、つり銭補助機からつり銭の払い出しを行いません。

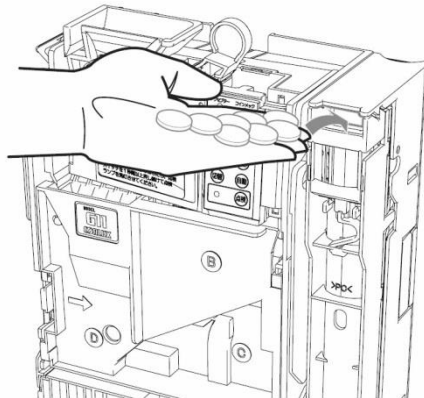
※ つり銭補助機は、説明の図ではチューブが 1 本ですが、実
際のチューブは 3 本です。
他のチューブも同じ手順でつり銭の補充を行ってください。

つり銭補助機
(3 本チューブ)



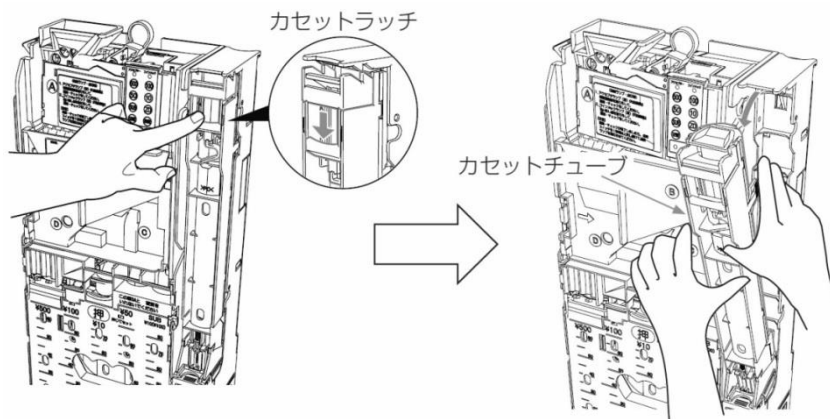
8-2-1 つり銭補給口から補充

1. 100 円硬貨をつり銭補給口より入れます。

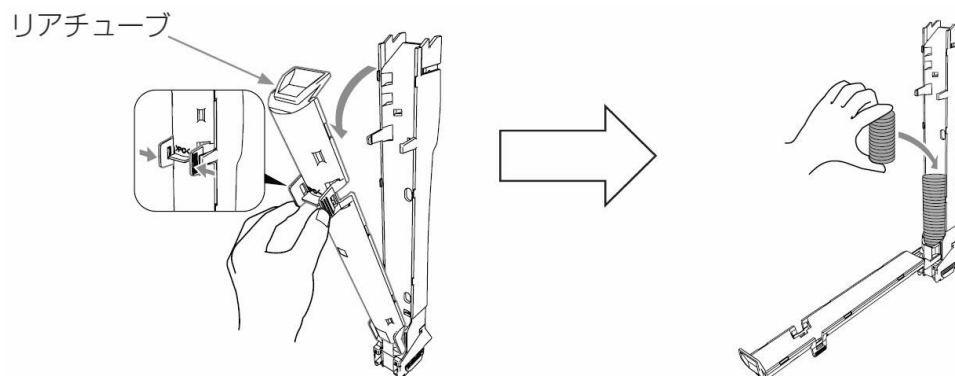


8-2-2 カセットチューブを取り外して補充

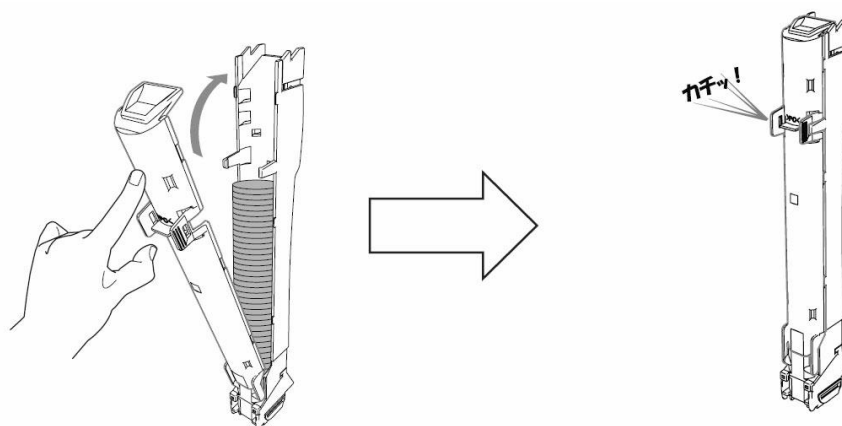
1. カセットラッチを押し下げ、カセットチューブを手前に倒して取り外します。チューブ内に硬貨が入っていると重量がありますので両手で取り外す様にしてください。また、チューブ内の硬貨が落ちる場合がありますので注意してください。



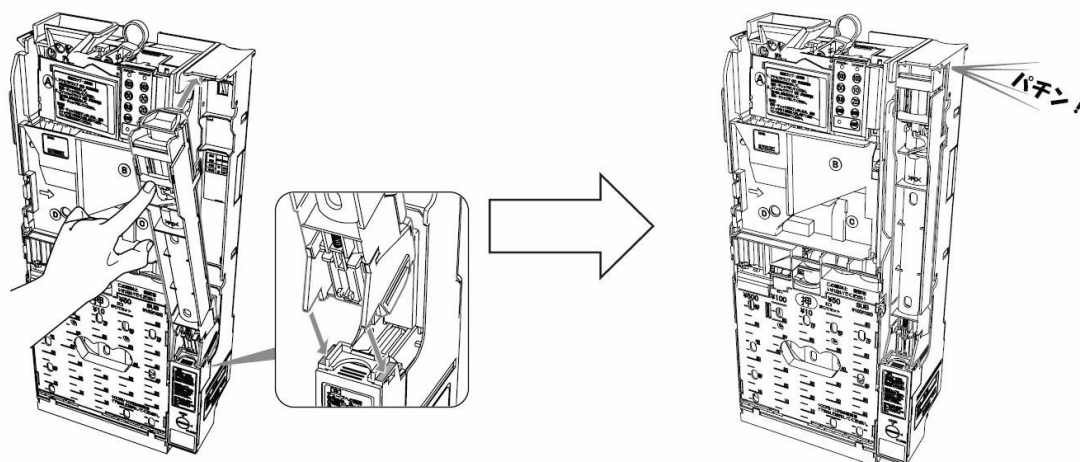
2. リアチューブのラッチを軽く内側に押しながら開き、100 円硬貨を補充します。



3. リアチューブを“カチッ”と音がするまで軽く押して閉じます。



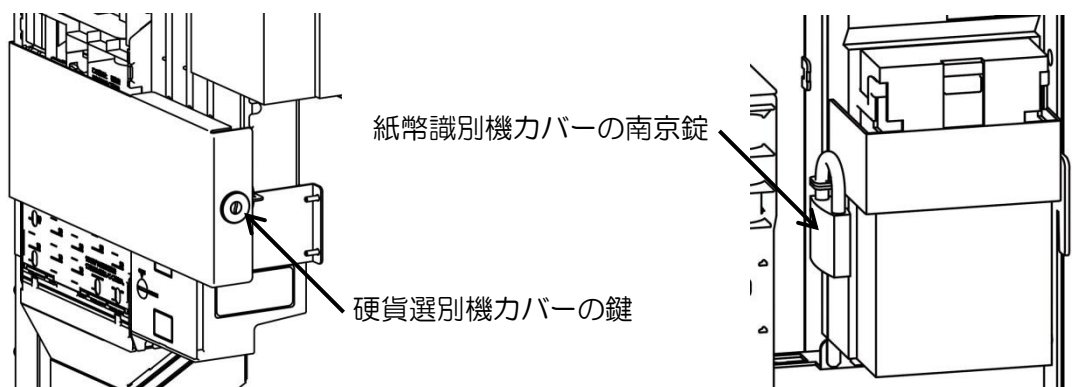
4. カセットチューブ下部の凸部をつり銭補助機の下にかけて、カセットチューブを“パチン”と音がするまで押して取り付けます。



- ※ カセットチューブが正しく取り付けられていないと、誤動作や故障の原因となります。
※ カセットチューブを取り付けるとき、カセットチューブの下部から硬貨が落ちる場合がありますので、注意しながら取り付けください。

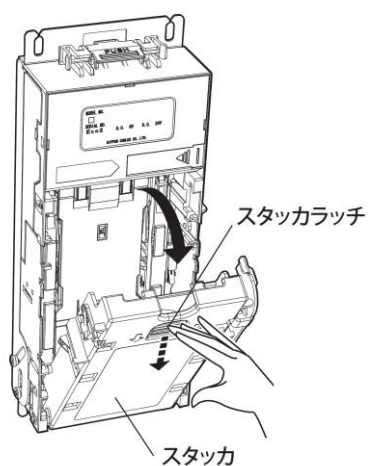
9 紙幣・硬貨回収

メーカーオプションの紙幣識別機カバー、硬貨選別機カバーが付いている場合は、各施錠を外してから作業してください。

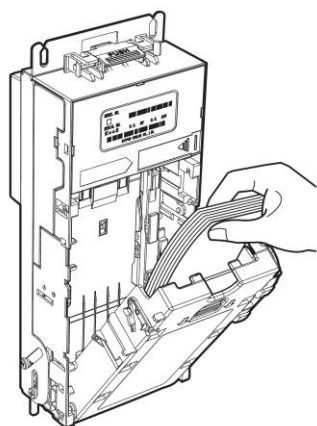


9-1 紙幣の回収方法

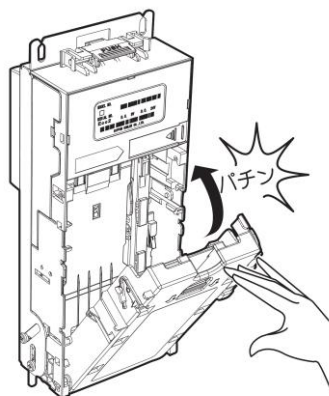
1. ストッカーラッチを押し下げスタックボックスを手前に開きます。



2. 紙幣を取り出します。紙幣は必ず全て回収してください。



3. スタックボックスを戻すときは、ストッカーラッチが“パチン”と音がするところまで押し込んでください。

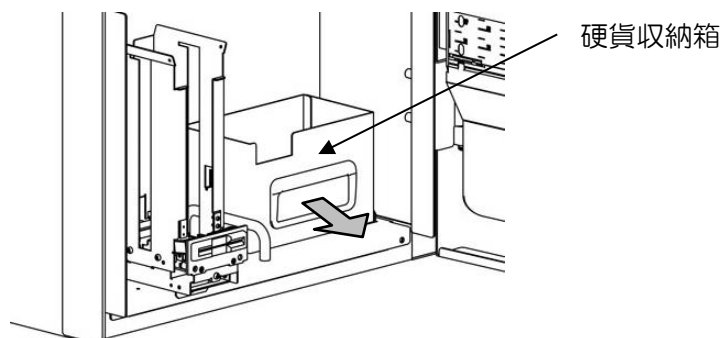


9-2 硬貨の回収方法

9-2-1 硬貨収納箱から回収

硬貨収納箱を引き出し、硬貨を回収します。

硬貨収納箱内に硬貨が入っていると重量がありますので、両手で取り扱ってください。



9-2-2 硬貨選別機のカセットチューブから回収

硬貨選別機の「8-1-2 カセットチューブを取り外して補充」(40 ページ)を参照して、カセットチューブ内の硬貨を回収してください。

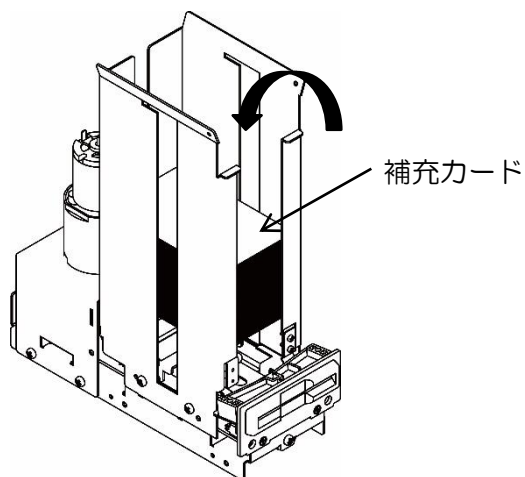
9-2-3 つり銭補助機のカセットチューブから回収(メーカーオプション)

つり銭補助機の「8-2-2 カセットチューブを取り外して補充」(42 ページ)を参照して、カセットチューブ内の硬貨を回収してください。

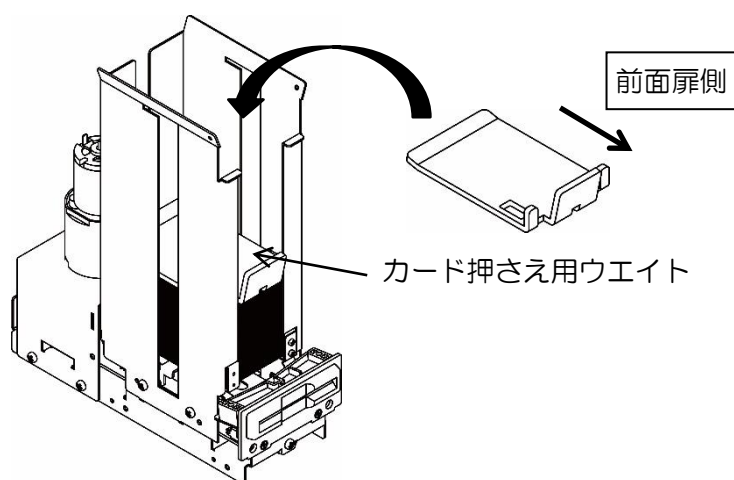
10 カードの補充

電源を OFF にし、以下に説明する手順でカードを補充してください。

1. 補充するカードを、カード払い出し機に入れます。



2. 付属のカード押さえ用ウエイトを、補充したカードの最上部に載せます。



3. 電源を ON にし、販売金額表示になる事を確認してください。
収納が確実ではない場合は、エラー表示になります。

• 正常に補充できた場合

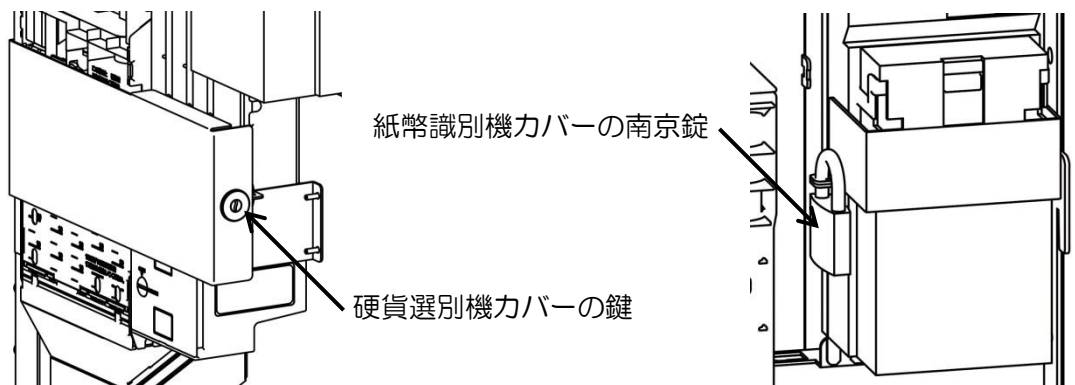


• 正常に補充できていない場合



11 日常のお手入れ

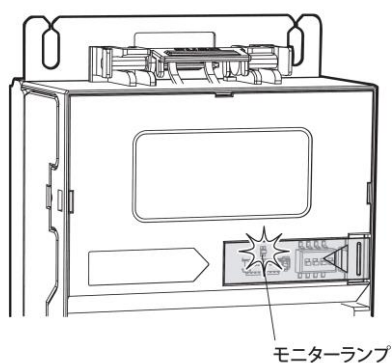
メーカーオプションの紙幣識別機カバー、硬貨選別機カバーが付いている場合は、各施錠を外してから作業してください。



11-1 紙幣識別機の清掃

紙幣識別機の識別部(通路部も含む)は、紙幣、ほこり、水ぬれ、異物の付着などで汚れてきます。汚れがひどくなるとモニターランプが点滅しますのでセンサーを清掃してください。また、1～3ヶ月ぐらいに1度、必要に応じて清掃してください。

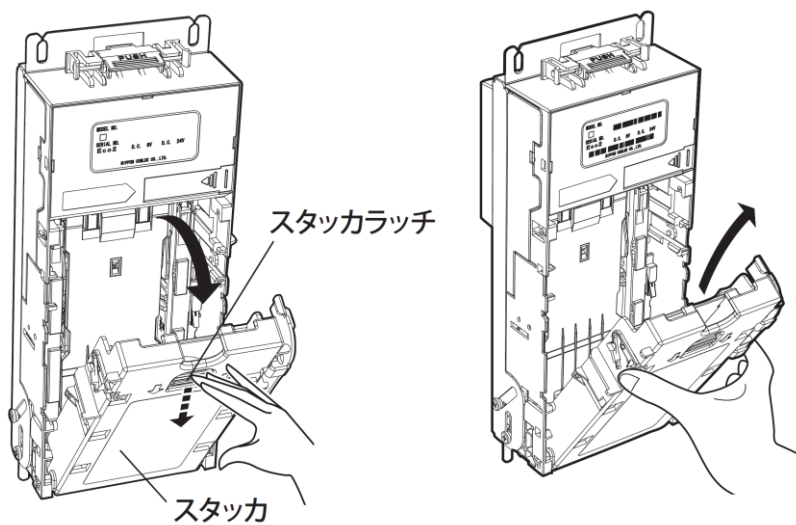
※ モニターランプは、識別センサーの汚れにより清掃が必要なとき、0.5秒間隔で点滅します。



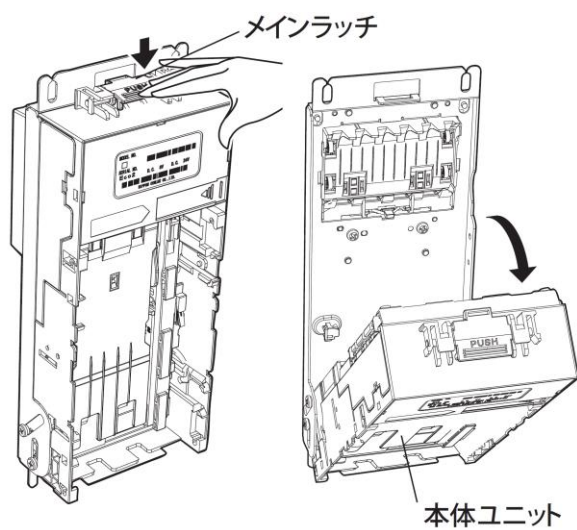
モニターランプの表示内容

状態 \ 色	赤	緑
消灯	正常	正常
点灯	異常	点検
点滅	センサー汚れ	-

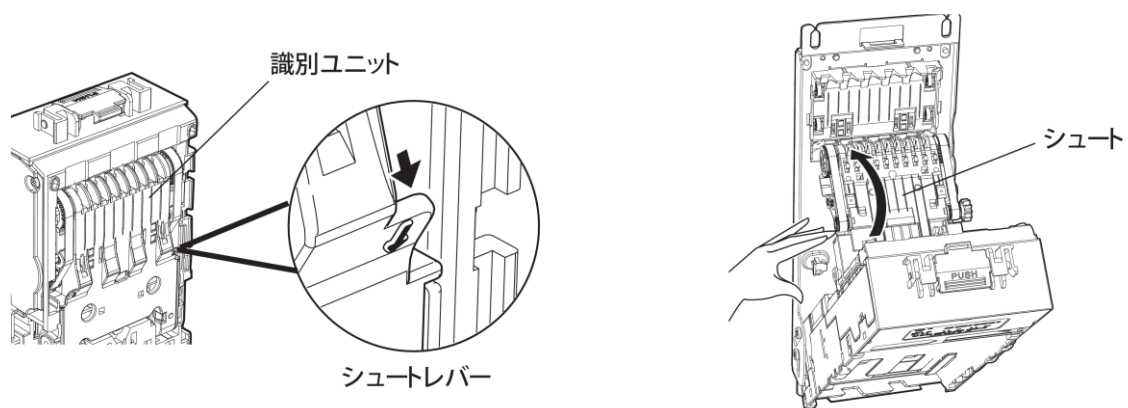
1. ストッカーラッチを押し下げ、スタックボックスを開き、外します。



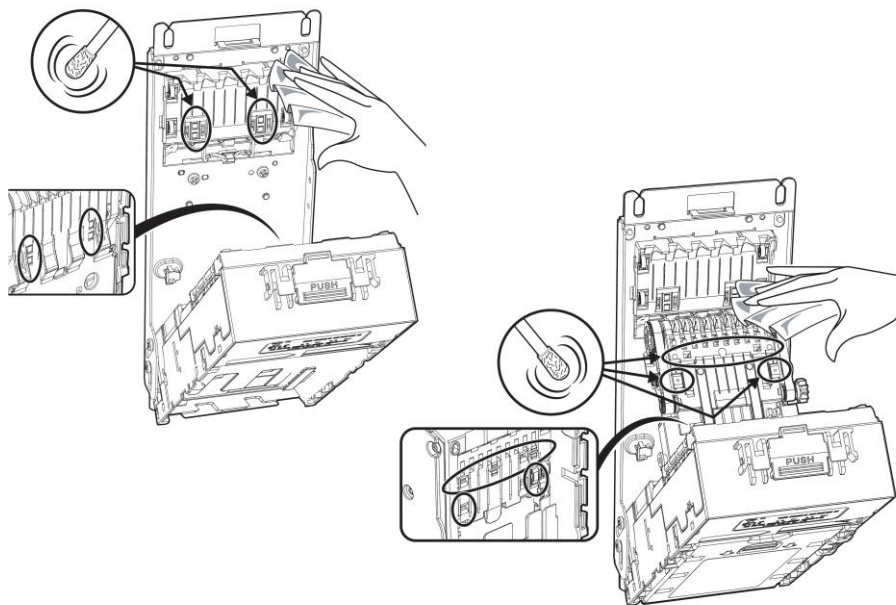
2. メインラッチを押し下げ、本体ユニットを開きます。



3. 識別ユニットの→部分のレバーで、シュートを開いてください。

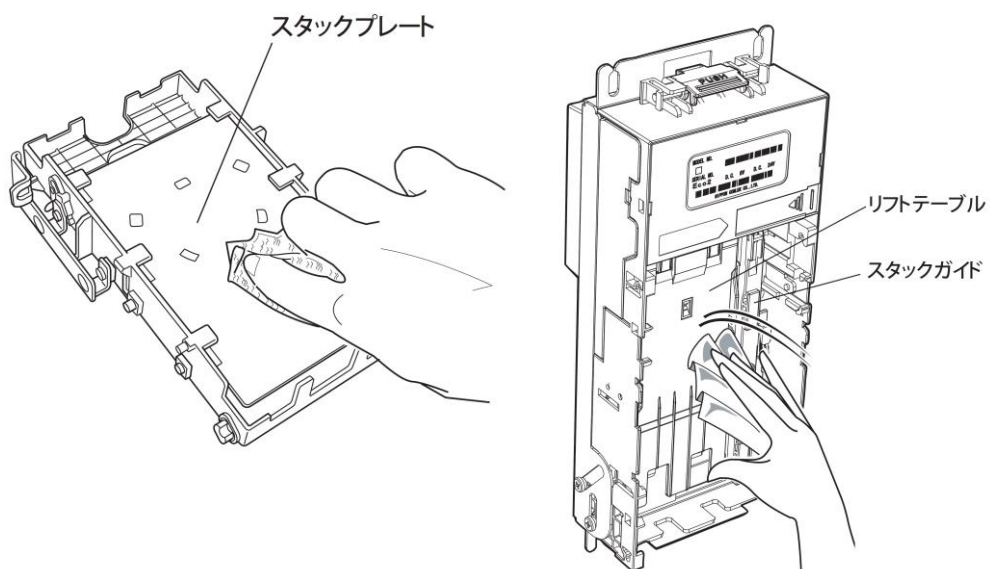


4. 紙幣通路部の汚れは柔らかい布で拭き取ってください。またシュート、ローラ、ベルトなどの汚れを拭き取ってください。



※ センサー類を清掃するとき、キズを付けないように十分注意してください。

5. リフトテーブル、スタックガイド、スタックプレートなどの汚れを柔らかい布や綿棒で拭き取ってください。



※ 紙幣挿入口は綿棒などで清掃してください。

※ 汚れが取れにくいときは、固くしぼった柔らかい布などで拭き取ってください。

※ 搬送ベルトには、ベンジン・シンナーなどは絶対使用しないでください。

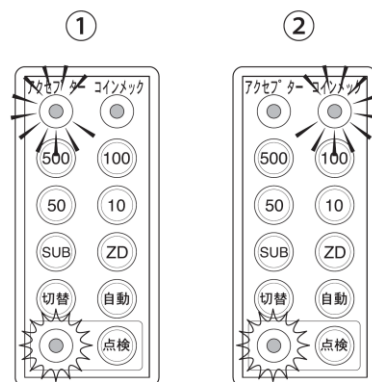
11-2 硬貨選別機の清掃

硬貨選別機は、硬貨、メダル、ほこり、水ぬれ、異物の付着などで汚れてきます。汚れがひどくなると規定の選別、払出し機能が維持できなくなりますので、1～3 ヶ月に 1 度、必要に応じて清掃してください。

11-2-1 点検ランプ

点検ランプが点灯した場合は、点灯に応じた場所を清掃してください。

- ① 点検ランプとアクセプターランプ(赤)が点滅している時は硬貨選別部を取り外して、清掃・チェックをしてください。
- ② 点検ランプとコインメックランプ(黄)が点滅している時は払い出し部を取り外して、清掃・チェックをしてください。

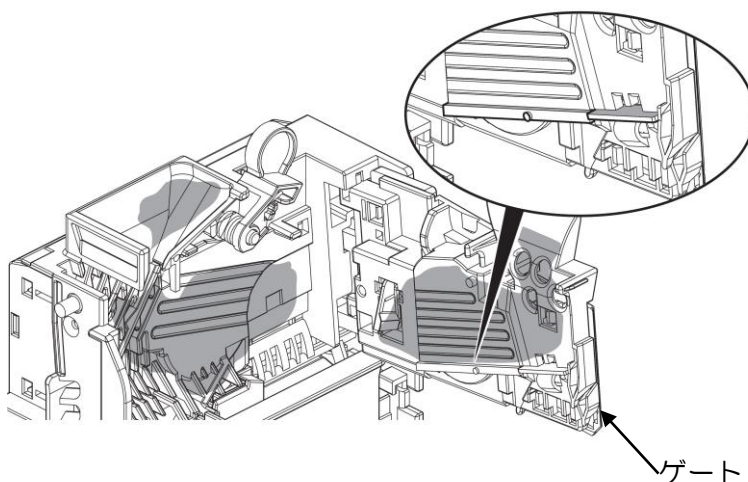


※ 清掃・チェックが終了しましたら、点検スイッチを 1 秒間以上押し続けて点検ランプを消灯させてください。尚、点検ランプが点滅になった場合は他の異常がある為、先に解消してから操作を行ってください。

11-2-2 通路部の清掃(パーツを取り外さない方法)

ゲートを開きアミ部分の各硬貨通路部分を清掃してください。特にレール部分はよく清掃してください。

汚れが取りきれない場合は「11-2-3 通路部の清掃(パーツを取り外す方法)」(51 ページ)を参照してください。

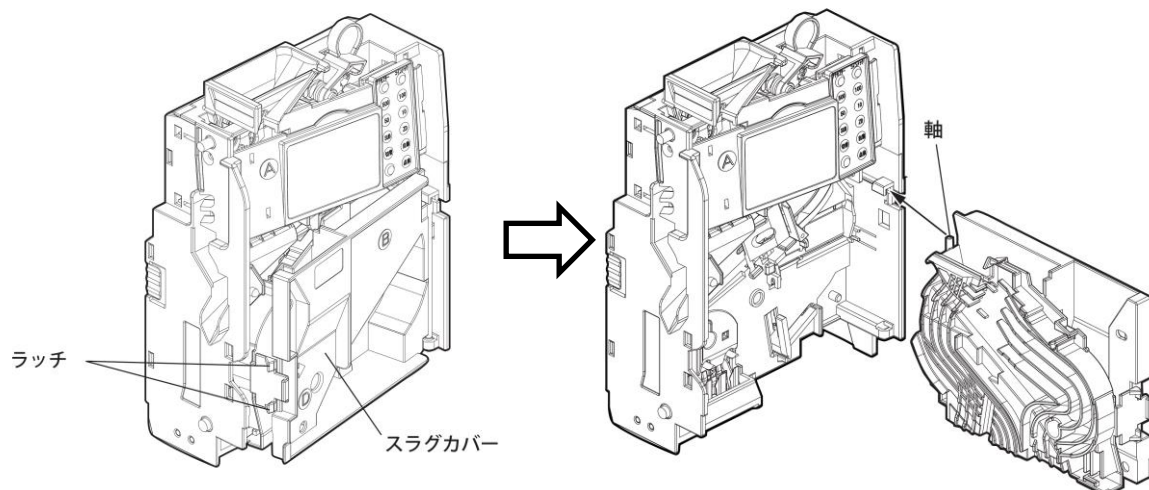


※ 汚れが取りにくいときは、アルコールをつけてふきとってください。

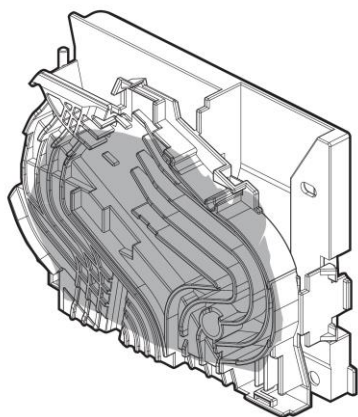
※ シンナー・ベンジン等の揮発性のものは絶対使用しないでください。

11-2-3 通路部の清掃(パーツを取り外す方法)

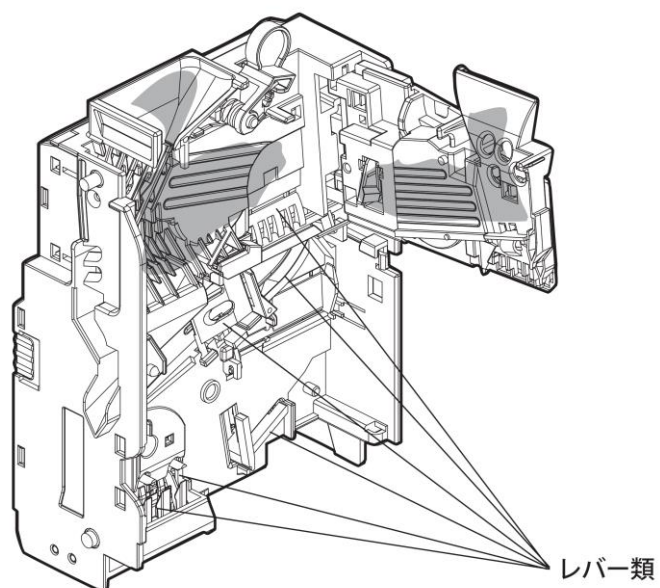
1. 左のラッチを外し、スラグカバーを手前に開きます。右側上部の軸から先に外し、スラグカバーを外します。



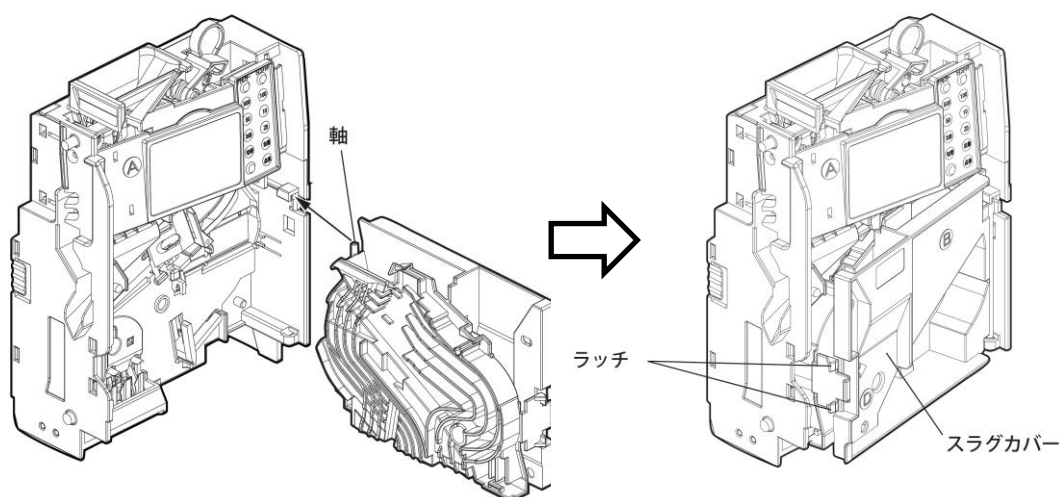
2. スラグカバー裏側の硬貨通路面(アミ部分)をよく清掃してください。



3. メインプレート、レバー類を乾拭きしてください。またアミ部分の各硬貨通路部分はよく清掃してください。

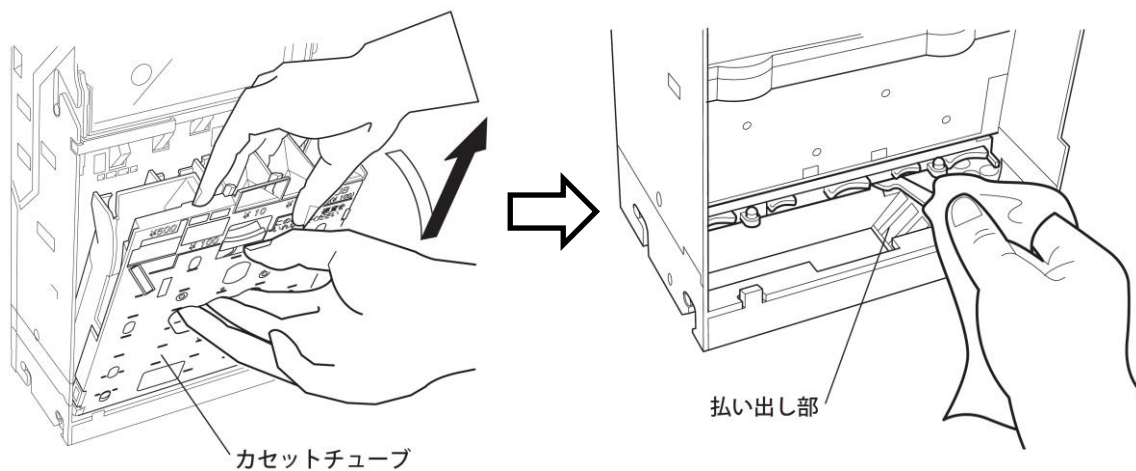


4. 右側下部の軸を先にセットし、右側上部の軸をはめ込み、スラグカバーを閉め“パチン”と音がするまで押し込みます。

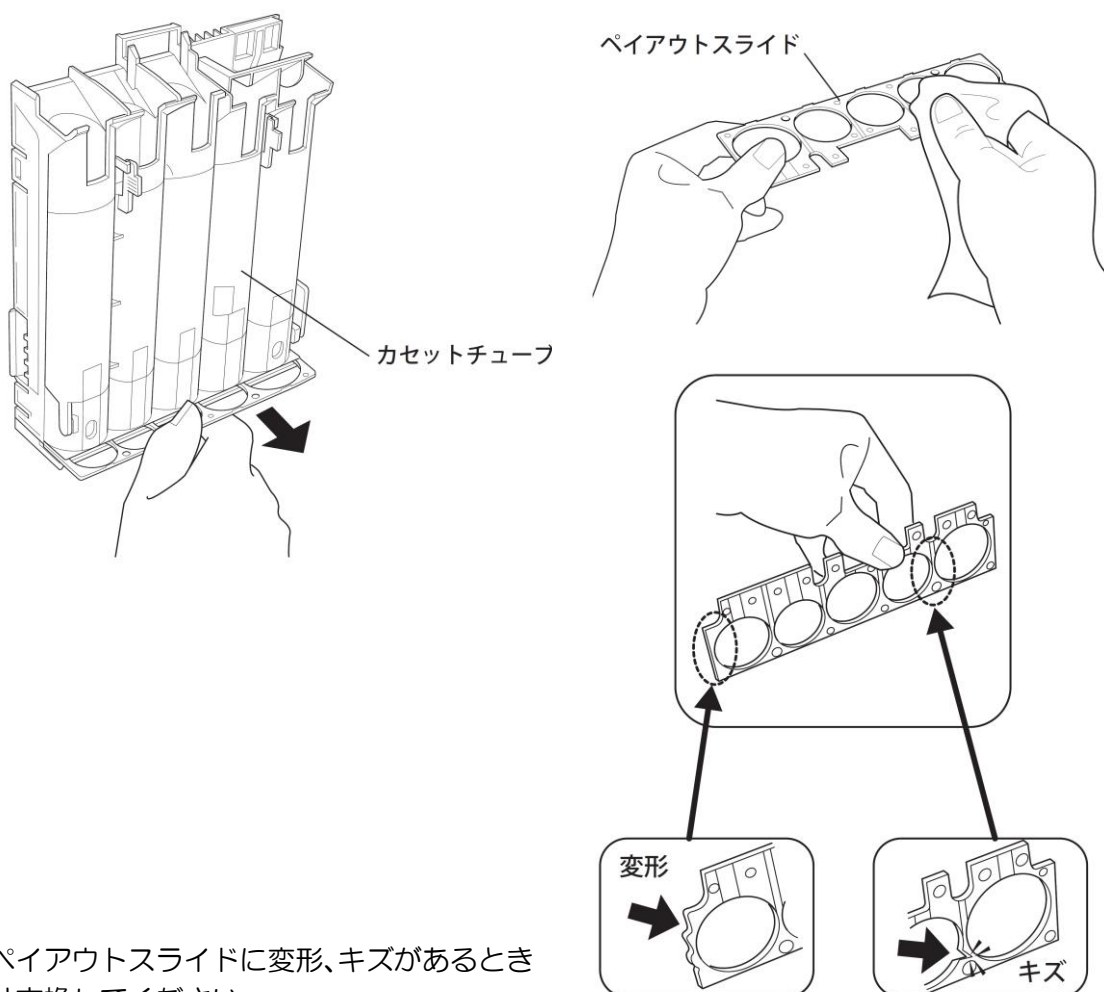


11-2-4 本体の払出部の清掃

1. カセットチューブを外し、払出部を清掃してください。



2. カセットチューブからパイアウツスライドを外して、固くしぼった柔らかい布で清掃してください。



※ パイアウツスライドに変形、キズがあるときは交換してください。

11-3 つり銭補助機の清掃(メーカーオプション)

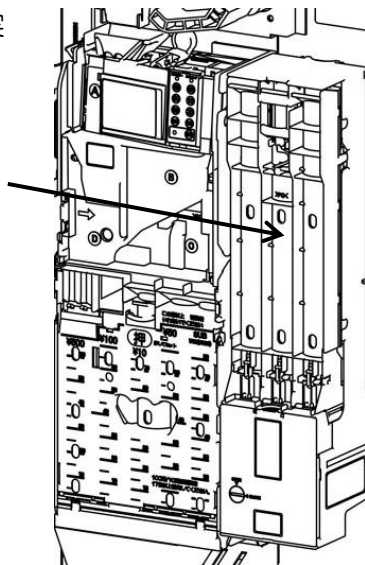
つり銭補助機は、硬貨、ほこり、水ぬれ、異物の付着などで汚れてきます。汚れがひどくなると払い出し性能が維持できなくなりますので、1～3 ヶ月に 1 度、必要に応じて清掃してください。

※ 電源は OFF にして作業を行ってください。

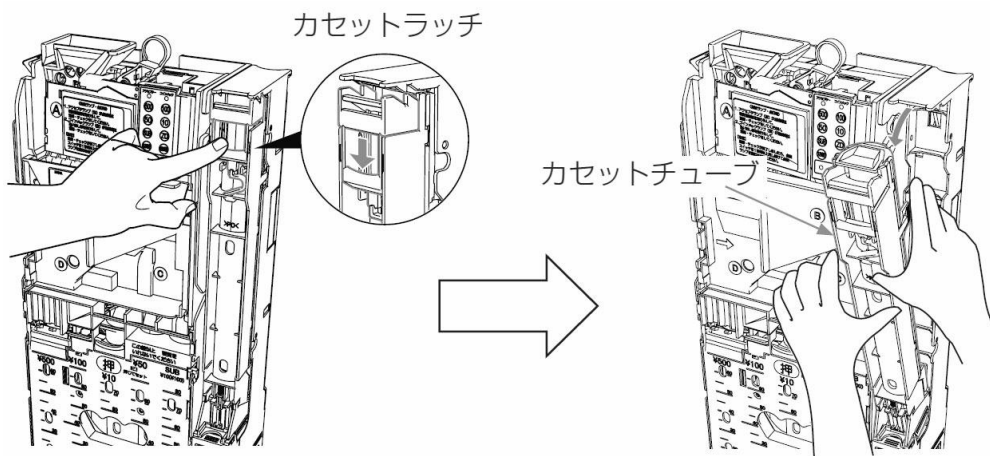
※ つり銭補助機は、説明の図ではチューブが 1 本ですが、実際のチューブは 3 本です。

同じ手順で清掃を行ってください。

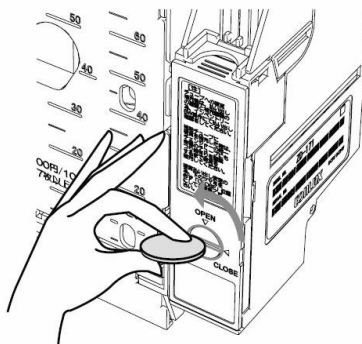
つり銭補助機
(3 本チューブ)



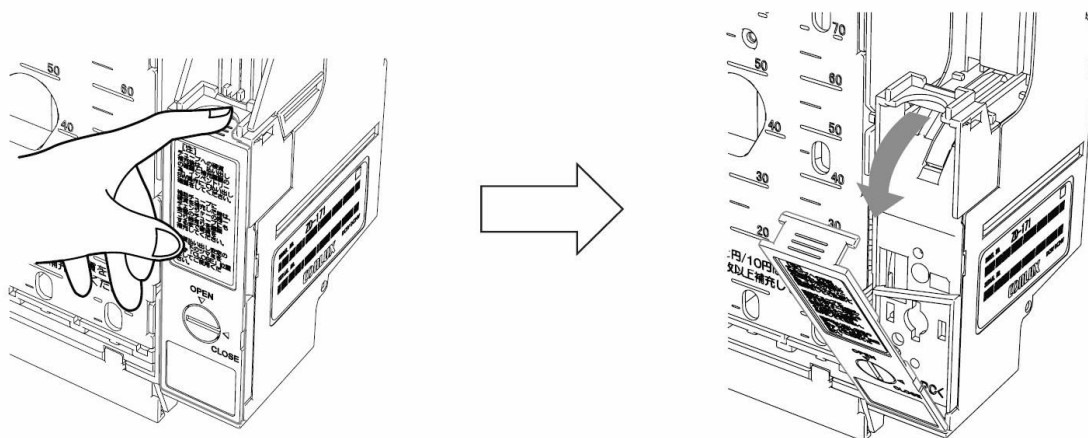
1. カセットラッチを押し下げ、カセットチューブを手前に倒して取り外します。チューブ内に硬貨が入っていると重量がありますので両手で取り外す様にしてください。またチューブ内の硬貨が落ちる場合がありますので注意してください。



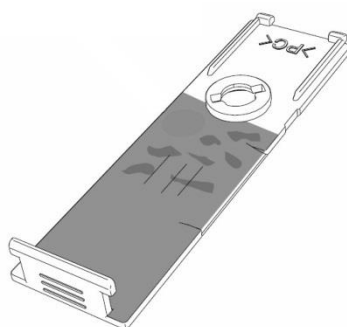
2. フロントカバークリップを10円硬貨等で“OPEN”側に回します。



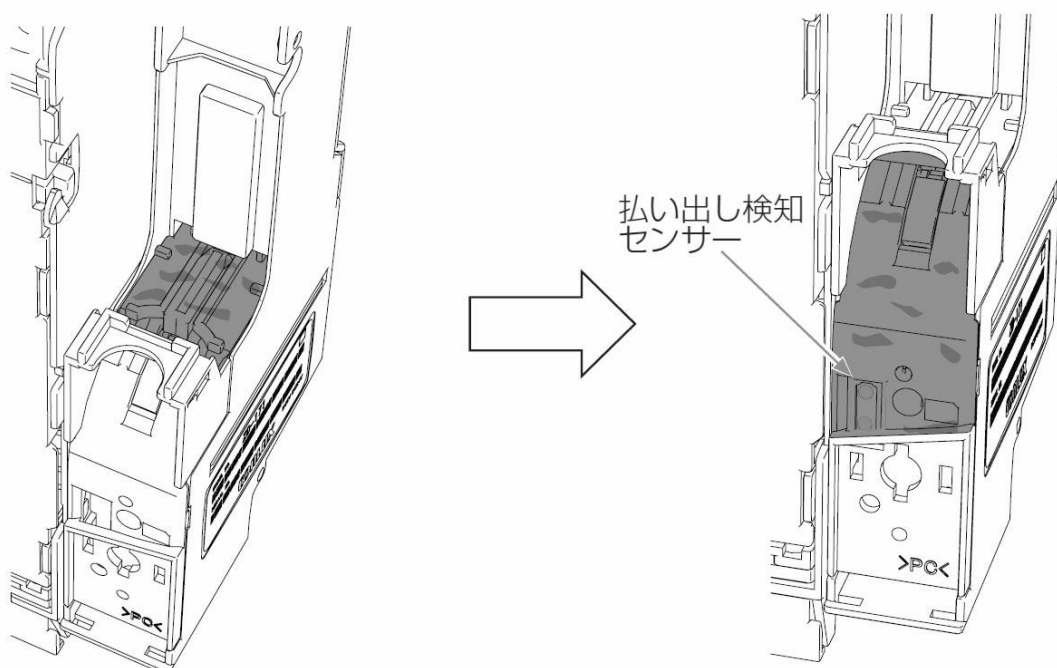
3. フロントカバーのラッチを押えて、フロントカバーを手前に引いて取り外します。



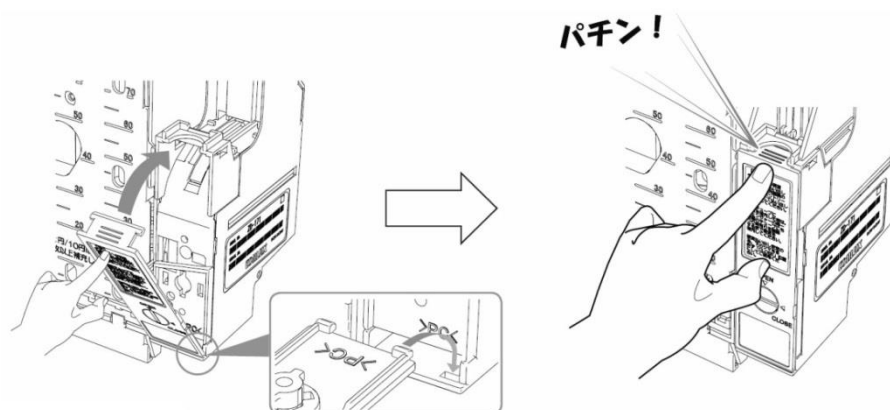
4. フロントカバーのグレー部分を清掃します。



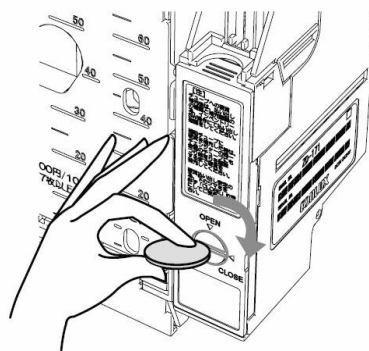
5. 硬貨通路部(グレー部分)と払い出し検知センサーを清掃します。このとき異物や硬貨が詰まっていた場合は取り除いてください。



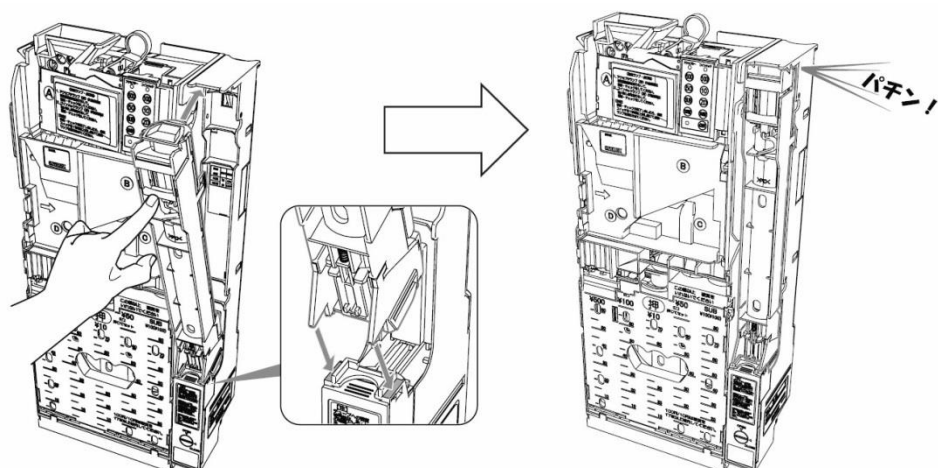
6. フロントカバー下部の凸部分を本体の穴部にかけて“パチン”と音がするまで押して取り付けます。



7. フロントカバークリップを10円硬貨等で“CLOSE”側に回します。



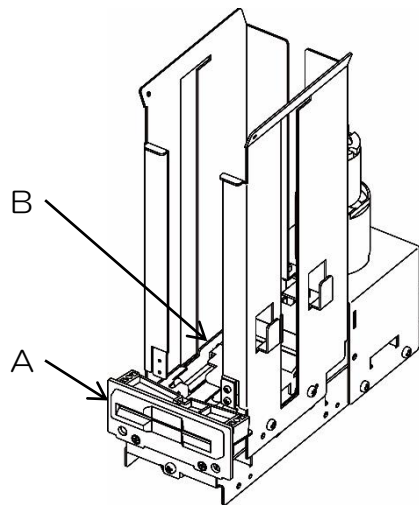
8. カセットチューブ下部の凸部をつり銭補助機の下部にかけて、カセットチューブを“パチン”と音がするまで押して取り付けます。この時チューブ内の硬貨を落とさないように注意してください。



9. 清掃が終わりましたら、必ず動作テストを行い、異常がないことを確認してください。確認をしないと異常を発見できず、誤動作や故障の原因となります。

11-4 カード払い出し機の清掃

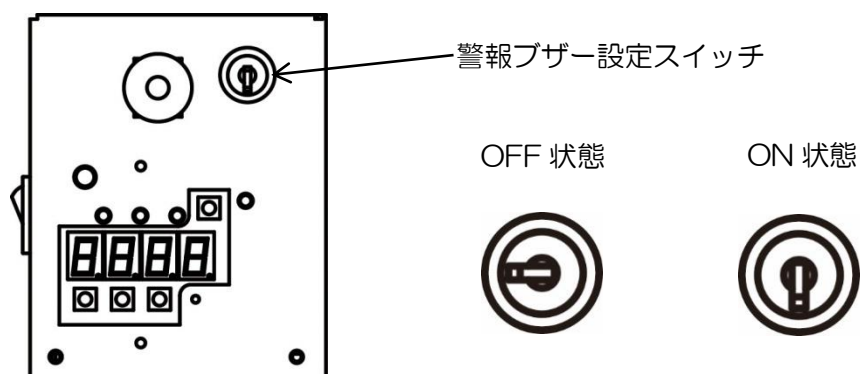
1. カード払い出し部(下図A)や収納部(下図B)の中に、異物やゴミがある時は取り去ってください。
2. 払い出し部や収納部の内部の汚れがはげしい時は、柔らかい布で拭き取ってください。
3. 払い出し口に、異物やゴミが付着している時は取り除いてください。
この時、払い出し口のゲート部分(下図A)にキズをつけたり広げたりしないように注意してください。



12 警報ブザー

12-1 警報ブザーの動作

1. 警報ブザー設定スイッチが ON の状態で動作します。警報ブザーを止める場合は警報ブザー設定スイッチを OFF にしてください。

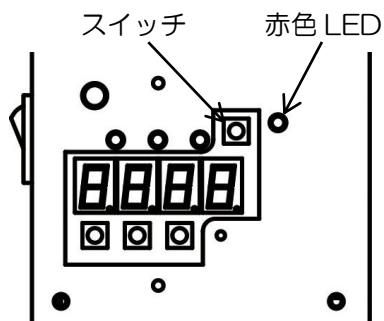


2. 警報ブザーが鳴る要因としては以下の 3 つがあります。
 - 電源プラグが引き抜かれた場合
 - 停電が発生した場合
 - 前面扉が不正に開いた場合
3. 警報ブザー設定スイッチを OFF にした場合、警報ブザーは停止します。停止中に警報ブザーが鳴る要因を解除してください。

警報ブザーが鳴る要因	解除方法
電源プラグが引き抜かれた場合	電源プラグをコンセントに差し込む。
停電が発生した場合	停電が復旧する。
前面扉が不正に開いた場合	警報ブザー設定スイッチを入れ直す。

12-2 警報ブザーの電池残量確認

電池交換の目安としてバッテリーチェックスイッチが搭載されています。スイッチを押して赤色 LED の発光が暗く感じたら電池を交換してください。



(注) 警報ブザー用電池は、1 年ごとに交換してください。

電池の品名：マンガン乾電池(積層形)

電池の型式：006P形

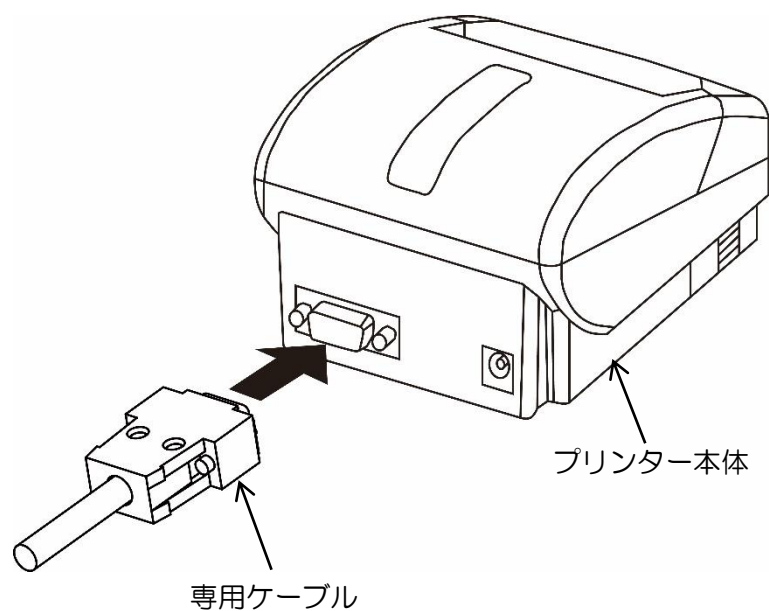
電池の電圧：9V形

電池の交換の際は安全のため電源スイッチを OFF にして、コンセントを抜いてから交換してください。

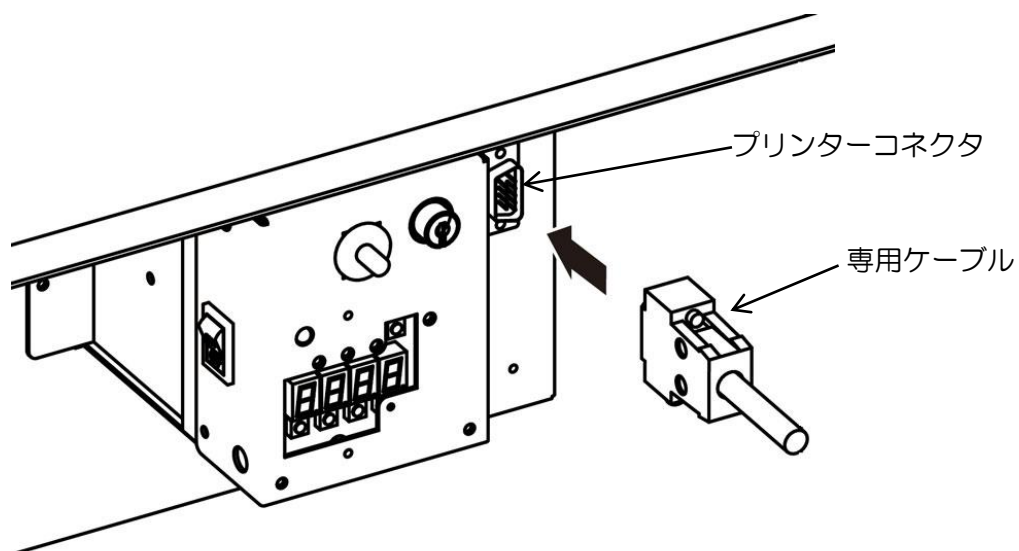
13 プリンターの接続方法

別売りの専用プリンターと専用ケーブルを接続します。

- ① 専用ケーブルをプリンター本体と接続します。



- ② 専用ケーブルを本体のプリンターコネクタへ接続します。



14 エラー表示一覧

エラーコード	エラー名	エラー要因
E-11	紙幣識別機異常	スタッカー部が閉まっているか、および紙幣が詰まっていないか確認し、異常がなければ電源を再投入してください。
E-20	カード無し	カードを補充してください。
E-21	カード払い出し不良	カードが詰まっていないか確認してください。
E-22	カード送出しモーター不良	販売店まで連絡をお願い致します。
E-30	前面パネル開き	前面パネルを確実に閉めてから警報ブザーの設定を行ってください。
E-40	硬貨選別機異常 1	硬貨が詰まっていないか確認し、電源を再投入してください。
E-45	硬貨選別機異常 2	カセットチューブが外れていないか、返却レバーが押されていないか確認し、異常がなければ電源を再投入してください。
[n]-1	紙幣識別機コネクタ抜け	紙幣識別機のコネクタが抜けていないか確認してください。
[n]-2	カード払い出し機コネクタ抜け	カード払い出し機のコネクタが抜けていないか確認してください。
[n]-4	硬貨選別機コネクタ抜け	硬貨選別機のコネクタが抜けていないか確認してください。
44n9	システム異常	販売店まで連絡してください。

※ 上記の方法を行っても復旧しない場合は、販売店まで連絡をお願い致します。

15 製品仕様

項目	内容	
制御方式	1 チップマイクロコンピュータによる動作制御	
□座数	1 □座	
対応紙幣	1000 円紙幣	
対応硬貨	500 円・100 円・50 円・10 円硬貨※1	
購入取消機能	あり※2 ※3	
つり銭機能	あり※3	
販売金額	10 円～9990 円	
販売カウンタ 紙幣カウンタ 500 円硬貨カウンタ 100 円硬貨カウンタ 50 円硬貨カウンタ 10 円硬貨カウンタ	トータルカウンタ (4 桁 リセットなし)	期間カウンタ (3 桁 リセットあり)
表示	緑色 7 セグメント 4 桁表示	
販売中ランプ	青色点 LED 表示	
つり銭切れランプ	赤色点 LED 表示(10 円・100 円)	
紙幣受け入れ禁止ランプ	赤色点 LED 表示	
紙幣収納枚数	430 枚±50 枚(官封紙幣)※4	
硬貨収納枚数	硬貨選別機 500 円硬貨：約 70 枚 100 円硬貨：約 77 枚 50 円硬貨：約 82 枚 10 円硬貨：約 92 枚 サブチューブ(100 円硬貨)：約 87 枚※5 つり銭補助機(100 円硬貨)：約 140 枚(チューブ 1 本あたり)※5 ※6 硬貨収納箱 100 円硬貨にて約 800 枚(各種硬貨混合収納)	
紙幣挿入方向	長手 4 方向	
販売カード	JIS-Ⅱ型 PET カード 厚さ 0.26±0.02mm または 0.22±0.02mm※7	
カード収納枚数	厚さ 0.26mm：約 500 枚 厚さ 0.22mm：約 600 枚※7	
警報ブザー	コンセント引き抜き時、および前面扉こじ開け	
時計精度	月差 60 秒以内(常温時)	
停電保証	大容量コンデンサーによる動作記憶 停電後 1 週間(フル充電状態にて)	
塗装色	焼付塗装 日本塗料工業会旧番号 P4-380 マンセル 10Y9/0.5	
使用環境	屋内専用 温度 5～45℃ 湿度 30～90%(結霜、結氷なき事)	

項目	内容
設置方法	自立式
本体外形寸法	450mm(W)×690mm(H)×200mm(D)※8
架台寸法	450mm(W)×410(610)mm(H)×200mm(D)※6 ※9 台座 520(580)mm(W)×420(450)mm(D)※6 ※9
重量	本体 約 30kg 架台 約 10(14)kg※6 ※9 台座 約 6(7)kg※6 ※9
電源	AC100V 50/60Hz
電源変動許容範囲	AC100V±10V
消費電力	待機時 10W 動作時 29W
絶縁抵抗	DC500V、50MΩ以上
耐電圧	AC1000V/1 分間(充電部－非充電部)
静電気耐力	8KV 以上(IEC 61000-4-2 準拠)
耐ノイズ	モード ノーマルモード、コモンモード パルス幅 1 μSec パルス高 ±1200V 位相 0～360° 3 分間重畳し誤動作なき事

※1 10 円・50 円硬貨は受入/禁止の設定ができます。

※2 購入途中の取り消しのみとなります。

※3 紙幣は同一金種で払い戻しができない場合があります。

また、10 円・50 円硬貨のみでは 100 円単位のつり銭は返却しません。

※4 流通紙幣の場合、収納枚数が減少する事があります。

※5 つり銭専用の硬貨となります。自動で補給はされません。

※6 メーカーオプションとなります。

※7 厚さ 0.22mm のカードを使用する場合は、カード払い出し機の調整が必要なので、事前にご相談下さい。

※8 突起部分は含みません。

※9 ()内は設置後に本機の高さが 1300mm 用架台の寸法・重量です。

16 保証規定

当社製品をご注文いただく際、見積書、契約書、仕様書などに特記事項のない場合には、次の保証内容、免責事項、適合用途の条件等を適用いたします。下記内容をご確認いただき、ご承認のうえご注文をお願い致します。

1) 保証内容

ー保証期間

当社製品の保証期間は、ご購入後またはご指定の場所に納入後1年といたします。

ー保証範囲

上記保証期間中に当社側の責により当社商品に故障を生じた場合は、代替品の提供または故障品の修理対応を、当社社内において無償で実施いたします。

ただし、故障の原因が次に該当する場合は、この保証の対象範囲から除外いたします。

- a) 取扱説明書または仕様書などに記載されている以外の条件・環境・取り扱いならびにご使用による場合
- b) 当社製品以外の原因の場合
- c) 当社以外による改造または修理による場合
- d) 当社製品本来の使い方以外の使用による場合
- e) その他、天災、災害など当社側の責ではない原因による場合

なお、ここでの保証は、当社製品単体の保証を意味するもので、
当社製品の故障により誘発される損害は保証の対象から除かれるものとします。

2) 責任の制限

当社製品に起因して生じた特別損害、間接損害、または消極損害に関しては、当社はいかなる場合も責任を負いません。

プログラミング可能な当社製品については当社以外の者が行ったプログラム、またはそれにより生じた結果について当社は責任を負いません。

3) サービスの範囲

当社商品の価格には、技術者派遣などのサービス費用は含まれておりません。

お客様のご要望がございましたら、当社営業担当者までご相談ください。

4) 適用範囲

以上の内容は、日本国内での取引および使用を前提としております。日本国外での取引および使用に関しては、当社営業担当者までご相談ください。

以上